

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

分担研究報告書

目標モニタリング項目収集による 2009 年（平成 22 年）～2011 年（平成 24 年）

5 年生存率の推計

研究代表者 松田智大 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 室長
研究分担者 柴田亜希子 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 室長
研究分担者 堀芽久美 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 研究員
研究分担者 雑賀公美子 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 研究員

研究要旨

47 地域がん登録から、罹患データの提供を受け、2009～11 年の全国がん生存率の推計を行った。このうち 36 地域が 2009-11 年症例の生存確認調査を実施しており、本集計に参加を表明し。精度指標の基準を満たす 22 地域を全国値推計の対象とした。罹患数の総計は 1,335,303 件であった。そのうち、死亡情報のみの登録（DCO）115,227 件で全体の 10.9%、第 2 がん以降 135,024 件（10.1%）、悪性腫瘍以外 103,113 件（7.7%）、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）103,856 件（7.8%）、年齢不詳及び 100 歳以上を除外して、解析対象 1 とした。解析対象 1 から「がん死亡情報からの遡り調査による登録」63,891 件を除外して解析対象 2、1,016,222 件（全体の 76.1%）とした。

全部位男女計の 2009-11 年診断の 5 年相対生存率は、64.1%となった。全部位において男性が 62.0%、女性が 66.9%であり、女性の 5 年生存率の方が 4.9 ポイント高い。2006-8 年診断症例では、解析対象 2 では、男女計 62.1%、男性が 59.1%、女性が 66.0%であったことから、全体に向上が見られる。部位別の観察では、解析対象 2 について、男性では前立腺 99.1%から膵臓 8.9%に分布した。女性では、甲状腺 95.8%から膵臓 8.1%の分布となった。全部位において限局が 44.1%、領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）が 25.2%、遠隔が 18.5%であり、臨床進行度不明が 12.3%あった。全部位においては、年齢階級を追うごとに生存率は低くなり、年齢階級による生存率の差は、全部位で、男性で 22.6 ポイント、女性で 39.1 ポイントと、女性の方が大きかった。高精度のがん登録データが利用できるようになり、こうした指標を総合的にがん対策に利用することができる。

A. 研究目的

全国がん罹患数・率の推計を、Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) プロジェクトの一環として実施した。第 3 対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向

の実態把握の研究」班から引き継ぎ、各地域がん登録が目指すべき内容として「地域がん登録の目標と基準（以下、目標と基準）」8 項目を改訂して、地域がん登録における精度基準を設定した。2015 年時点で地域が

ん登録事業を実施していた 47 都道府県を対象とし、2009～11 年の地域がん登録罹患データより全国がん生存率を推計することを目的とした。

B. 研究方法

1. データ収集

2018 年 8 月に地域がん登録実施 47 県を対象に、提出期間を 2018 年 9 月 1 日から 9 月 30 日までと設定し、国立がん研究センターがん対策情報センターで運営しているファイル共有サイトにアップロードする形式でデータの提出を依頼した。2015 年罹患データを提出可能な地域がん登録 47 県中、2009-11 年症例はがん登録事業未実施であった埼玉県、東京都、宮崎県を除く 44 県に参加を依頼した。このうち 36 県が 2009-11 年症例の生存確認調査を実施しており、本集計に参加を表明した。今回の集計においては、集計対象地域を拡大することを目的とし、2009-11 年全期間の罹患集計及び生存確認調査が完了していない場合でも、いずれかの年で集計が可能な場合には参加を依頼している。

住民票照会による最終生存確認年月を含む 30 項目を目標モニタリング項目とし、2009-11 年診断患者の 5 年後予後情報を含む 1993-2015 年罹患データの提供を MCIJ 参加地域に依頼し、提供を受けた（表 2）。

1. 精度基準

2009-11 年の全部位、男女合計について、①「罹患者中死亡情報のみで登録された患者」(DCO) の割合<10%、かつ、②「死亡情報で初めて把握された患者」(DCN) 割合<20%、かつ、③「罹患数と人口動態統計に

よるがん死亡数との比」(IM 比) ≥ 2.0 のすべての条件を満たす (MCIJ 精度基準 A) 地域のうち、全国生存率集計の基準として、住民票照会実施で診断から 5 年後の予後不明割合が 5%未満 (宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、福井県、山梨県、愛知県、滋賀県、大阪府、広島県、高知県、佐賀県、長崎県) あるいは全死亡情報との照会を実施している (新潟県、長野県、和歌山県、鳥取県、島根県、山口県、熊本県)、計 22 地域の資料を集計対象とした。北海道、青森、秋田、石川、三重、京都、奈良、徳島、愛媛、大分、鹿児島、沖縄は、データの提出はあったが、対象の罹患年において、①、②、③の基準を満たしていなかったため、千葉、神奈川は、地域がん登録の独自データベースから、都道府県がんデータベースへの移行が完全ではなく、幾つかの項目に不備があったために、後述の解析には含めず、22 地域が分母となる。

全 47 都道府県の合計値における精度指標 (C00-C96 を対象) は、DCN 割合 8.2%、DCO 割合 5.2%、IM 比 2.41 (MI 比 0.41)、罹患数全体における病理診断のある症例の割合 (MV/I%) は、84.0%だった。

1. がん罹患データ収集方法

本研究班によって定められた標準的な方法に従い、データの品質管理と集計を実施した。この作業においては、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部において開発した、がんサーベイランスシステムを利用した。

2. 集計対象

(1) 罹患数・率の集計対象のうち、次の

アからエを除くものを生存率の集計対象（解析対象1）とした。具体的には、目標モニタリング項目28の生存率集計区分が1及び2の症例に対応している。

(ア) 死亡情報のみで登録された患者（Death Certificate, Only DCO）。

(イ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降。

(ウ) 良悪不詳、大腸の粘膜がんを含む上皮内がん。

(エ) 年齢不詳及び100歳以上の症例

(2) 更に、解析対象1から「がん死亡情報からの遡り調査による登録」を除外して解析対象2とした。^{*1} 具体的には、目標モニタリング項目28の生存率集計区分が1の症例に対応している。

3. 生存率算出方法

(1) 診断日を起点とした実測生存率を、Kaplan-Meier法を用いて計算した。^{*2} 最終生存確認年月には、生存確認調査を実施している住民票照会を実施している地域については、住民票照会の結果に基づく日付を利用し、住民票照会以外で生存確認調査を実施している地域では、各地域より全死亡との照合対象年月として報告された日付を一律代入して利用した。よって、住民票照会を実施しない場合には、死亡情報がなかった症例は、全員5年生存とみなされる。

(2) 対象がんによる生命損失の大きさを見るために、実測生存率を、対象とするがん患者と同じ性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除した相対生存率を計測した。

(3) 期待生存率は、0.5歳分加算したcohort生存率表に基づき、Ederer II法を

用いて計算した。^{*3*4} 期待生存確率は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部が、簡易生命表を用いて毎年計算しているcohort生存率表を用いた（http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/cohort01.html）。

^{*1} 欧州の生存率共同調査であるEUROCARE studyにおいては、解析対象1（がん死亡情報からの遡り調査による登録を含む）を集計対象とすることが生存率計測の標準方式とされる。しかし、我が国においては、DCO割合が欧米に比して高く、医療機関からの届出がないために登録漏れとなった生存患者が多数存在することが示唆される。がん死亡情報からの遡り調査による登録を集計対象に含めると、集計対象者が死亡例に偏り、生存率を実際より低く見積もる可能性がある。また、我が国では、遡り調査を実施していない登録室も多いため、解析対象1を標準方式として採用すると、生存率の都道府県別比較が困難となる。これらの理由により、解析対象2を我が国の標準方式と定めることとした。

^{*2} 地域がん登録では、従来、生命保険数理学を用いることが多かった。これは集計対象者数が多いこと（一般に、対象者が30-50例以上では生命保険数理学、それより少ない場合はKaplan-Meier法といわれている）、及びKaplan-Meier法の計算方法が煩雑であったことに因る。しかし、最近は、コンピュータを用いてKaplan-Meier法で容易に計算することが可能になったこと、Kaplan-Meier法では生命保険数理学での

仮定（観察打ち切り例はその期間の中央まで観察したと仮定して計算する）が不要であるため、より精度が高いこと、などから、地域がん登録でも Kaplan-Meier 法を用いるべきであると考えられている。なお生命保険数理法では、前述した仮定のため、各観察期間当初の対象者数が 10 名以下となった時点で、それ以降の生存率を計測すべきではない。

*3 これは、がんの診断時に例えば 60 歳であった患者は、正確に 60 歳ではなく、60.5 歳に近いという考え方に因る。

*4 期待生存率の計算方法として、Ederer I 法、Ederer II 法、及び Hakulinen 法がある。Ederer I 法は、観察開始時点における患者の性、年齢分布を固定して、一定期間後（例えば 5 年後）の期待生存率を計算する方法であり、我が国の地域がん登録では、かつてこの方法を用いていた。しかし、観察期間が長くなると、患者の性、年齢分布は、観察開始時点におけるそれと異なってくる。通常は、若年者より高齢者の方が、死亡確率が高いため、観察期間が長くなるにつれ、対象者に占める若年者の割合が多くなる。従って、観察開始時点での分布を用いて数年後の期待生存率を計算すると、期待生存率を低く見積もることになり、相対生存率を過大評価することになる。この欠点を補う方法が、Ederer II 法である。Ederer II 法は、それぞれの観察期間（例えば 1 年単位）の開始時点での性、年齢分布を用いてそれぞれの期間別の生存確率を求め、それを累積することにより期待生存率を求める方法である。標準方式では、この方法を用いるこ

ととする。なお、Hakulinen 法は、更にそれぞれの期間の死亡率、打ち切り率をも考慮する方法であり、EUROCARE study ではこの方法が採用されてきた。しかしながら、近年では、がん死亡リスクと他死因死亡リスクとの非独立性が注目され、がん死亡リスクが高い、すなわち他死因死亡のリスクも高いグループが先に集団から脱落してしまうことが注目されている。このため、Ederer II 法では、全年齢での生存率を集計した際に、他死因死亡リスクの低いグループ、つまり若い患者の生存率に偏ることが報告されている。この問題を回避するために、全年齢での生存率集計をする際に、高齢の患者に重み付けをし、早い段階で他死因で亡くなったであろう患者のがん死亡リスクも代表させる手法、純生存率（Net survival）が考案された。本手法は CONCORD2 及び 3 研究や、EUROCARE6 研究等、諸外国においては標準的手法として既に適用されており、我が国においても、国際がん研究機関（IARC）や国際がん登録協議会（IACR）の方針を窺いつつ、住民ベースのがん登録においてのがんの負担の計測には、本手法の採用を検討すべきであろう。

C. 研究結果

1. 提出データ

表 1 に、36 地域の罹患数、登録精度、生存率集計対象者数を示した。罹患数の総計は 1,335,303 件であった。そのうち、死亡情報のみの登録（DCO）115,227 件で全体の 10.9%、第 2 がん以降 135,024 件（10.1%）、悪性腫瘍以外 103,113 件（7.7%）、上皮内がん（大腸の粘膜がんを含む）103,856 件

(7.8%)、年齢不詳及び 100 歳以上を除外して、解析対象 1 とした。これらの除外基準は、症例によっては重複して当てはまるものがある。

更に、解析対象 1 から「がん死亡情報からの遡り調査による登録」63,891 件を除外して解析対象 2 とした。この結果、解析対象 1 は 1,080,113 件 (2009-11 年累積罹患数の 81.7%)。解析対象 2 は 1,016,222 件 (同 76.1%) であった。

2. 生存確認調査の方法と精度

表 2 に、解析対象 2 について、診断から 5 年後の予後状況を診断年別に示した。5 年後の予後不詳割合は 0.1% であった。22 地域合計の生存割合は 55.5% となった。住民票照会なしの 7 県 (新潟、長野、和歌山、鳥取、島根、山口、熊本) では、住民票照会実施の 15 県 (宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、福井、山梨、愛知、滋賀、大阪、広島、高知、佐賀、長崎) に比べて死亡割合が若干低く (53.8% 対 55.5%) 県外転居者の死亡の把握漏れによって「生存」に含まれる死亡者存在の可能性が若干残存していることが示唆された。

3. 部位別生存率

表 3 に、解析対象 2 について、部位別の対象者数、5 年相対生存率、及び標準誤差を、性別、診断年別に示した。

全部位男女計の 2009-11 年診断の 5 年相対生存率は、解析対象 2 では、64.1% となった。解析対象 2 を観察すると、全部位において男性が 62.0%、女性が 66.9% であり、女性の 5 年生存率の方が 4.9 ポイント高い。2006-8 年診断症例では、解析対象 2 では、

男女計 62.1%、男性が 59.1%、女性が 66.0% であったことから、全体に向上が見られる。

部位別の観察では、解析対象 2 について、男性では前立腺 99.1% から膵臓 8.9% に分布した。女性では、甲状腺 95.8% から膵臓 8.1% の分布となった。図 1 に、2009-11 年の部位別 5 年相対生存率が高い順に示した。男性では 5 年相対生存率が比較的高い群 (70-100%) には、前立腺、皮膚、甲状腺、喉頭、膀胱、結腸、直腸、腎・尿路 (膀胱除く) が分類された。中程度の群 (40-69%) には、胃、悪性リンパ腫、口腔・咽頭、白血病、多発性骨髄腫、食道が含まれた。生存率が低い群 (0-39%) に属する部位は、肝および肝内胆管、脳・中枢神経系、肺、胆のう・胆管、膵臓であった。女性では 5 年相対生存率が比較的高い群 (70-100%) には、甲状腺、皮膚、乳房、喉頭、子宮体部、子宮頸部、直腸が分類された。中程度の群 (40-69%) には、結腸、口腔・咽頭、悪性リンパ腫、腎・尿路 (膀胱除く)、胃、膀胱、卵巣、肺、食道、白血病、多発性骨髄腫が含まれた。生存率が低い群 (0-39%) に属する部位は、脳・中枢神経系、肝および肝内胆管、胆のう・胆管、膵臓であった。

図 3 に、解析対象 2 について、部位別性別の相対生存率を生存曲線で示した。全部位の 1~5 年相対生存率は、男女計で、81.9%、73.6%、68.9%、66.1%、64.1% であり、男性では 80.6%、71.7%、66.9%、64.0%、62.0%、女性では 83.5%、73.6%、71.6%、68.8%、66.9% であった。全部位では、女性の方が男性より生存率が高く、口腔・咽頭、食道、肺、脳・中枢神経系においても、同様の傾向が観察された。逆に、結腸、胆のう・胆管、膀胱、腎・尿路では、男性の方が女性より生存率が

高かった。

4. 臨床進行度別生存率

表 4 に、解析対象 2 について、診断時の臨床進行度分布を示した。悪性リンパ腫を除く血液のがんについては、住民ベースのがん登録において、臨床進行度分類をしないルールとなっていることから、今回の集計においては、臨床進行度別生存率を表示していない。

解析対象 2 を観察すると、全部位において限局が 44.1%、領域（所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤）が 25.2%、遠隔が 18.5%であり、臨床進行度不明が 12.3%であった。図 2 に、解析対象 2 について、限局の割合が多い順に示した。

臨床進行度不明が多い部位を除き、限局割合が比較的高い群（>60%）には、皮膚、膀胱、喉頭、子宮体部、前立腺などが分類され、逆に診断時に既に進行し、限局割合が低い群（<40%）としては、口腔・咽頭、食道、肺、卵巣、悪性リンパ腫、胆のう・胆管、膵臓などが挙げられた。

表 5 に、解析対象 2 について、臨床進行度別 5 年相対生存率と標準誤差を示した。

解析対象 2 を観察すると、全部位において限局の 5 年相対生存率は 92.4%、領域（領域リンパ節転移及び隣接臓器浸潤）が 58.1%、遠隔が 15.7%であった 2006-8 年診断症例では、限局 90.4%、領域が 55.1%、遠隔 13.6%であったことから、各ステージで生存率が向上している。

図 4 に、部位別臨床進行度別相対生存率を示した。一様に臨床進行度が高くなるにつれ、生存率が低下している様子が観察された。

5. 年齢階級別生存率

表 6 に、解析対象 2 について、性別年齢階級別（15 歳以上）5 年相対生存率と最大値と最小値の差を示した。

解析対象 2 を観察すると、全部位においては、年齢階級を追うごとに生存率は低くなり、年齢階級による生存率の差は、全部位で、男性で 22.6 ポイント、女性で 39.1 ポイントと、女性の方が大きかった。

主要部位で見ると、年齢階級による生存率の差は男性では結腸（1.8 ポイント）皮膚（2.2 ポイント）、食道（2.4 ポイント）で小さく、白血病（52.8 ポイント）、脳・中枢神経系（48.4 ポイント）、多発性骨髄腫（47.2 ポイント）で大きかった。女性では乳房（0.6 ポイント）、皮膚（1.7 ポイント）、膀胱（8.1 ポイント）で小さく、白血病（55.5 ポイント）、脳・中枢神経系（53.5 ポイント）、卵巣（51.5 ポイント）で大きかった。

図 5 に、解析対象 2 の部位別年齢階級別相対生存率を示した。年齢と反比例して生存率が低下する様子が観察されたが、胃、大腸、肝および肝内胆管では、15-64 歳と 64-74 歳に大きな差が無く、乳房、前立腺においては、全年齢グループで生存率がほぼ同値であった。

D. 考察

36 地域全体の DCO 割合は 10.9%、全国集計利用 22 地域の DCO 割合は 6.4%であった。前回の 2006-8 年診断症例では、提出

27 地域全体の DCO 割合は 15.8%、全国集計値利用地域の 21 地域の DCO 割合は、13.5%であったため、大幅な精度向上があった。我が国では、データ収集時に依然

DCN の割合が多く、遡り調査を実施していない地域も多く、生存率の比較を容易とするために、遡り調査登録を含まない解析対象 2 を我が国の標準方式と定めた。しかし、国際ルールでは、遡り調査登録を含む登録対象 1 が標準である。がん死亡からの遡り調査による登録を集計対象に含めるか否かによる生存率の違いは、男女計全部位で依然として 3.3 ポイント (60.8%と 64.1%) 存在するが、全がん患者を代表する生存率の値といえる精度であると考えられる。

生存確認調査方法についても課題が残り、集計対象基準に、住民票照会か全死亡情報との照会としたものの、両グループの差は顕著であった。死亡割合を見ると、住民票照会ありの 17 県 (解析対象 2、53.1-58.7%) に比べて、住民票照会なしの 10 県 (解析対象 2、51.1-57.0%) が若干低く、全死亡情報との照会においても、照会漏れのために生存扱いとなる可能性が示唆された。信頼性の高いがん患者の生存率を整備し、国内外で比較するためには、引き続きの精度向上の努力と、全国がん登録体制での、全国レベルでの死亡者情報票の活用が必要である。

臨床進行度別の集計結果では、部位によっては不明の割合が 13~4%のものもある (肝および肝内胆管、前立腺)。こうした不明割合は、DCO 割合の減少とともに大きく改善しているが、依然として集計値のバイアスとなっている可能性がある。

「全部位」の数値は、集計対象者の部位分布、年齢分布に左右されることから、県間の比較、経時的比較には注意を要する。

これらの背景から、本報告書に掲載されている 5 年相対生存率の精度は、完全ではないものの、以前と比較して十分に精度向

上しており、県間の比較、部位間の比較等を実施するに足る数値であると考えられる。

E. 結論

MCIJ プロジェクトの一環としての、全地域がん登録実施道府県に呼びかけての生存率推計作業が 4 回目となり、研究班としても軽い負担で集計作業を完了することができるようになった。MCIJ プロジェクトとしての生存率推計は、残すところ 1 回のみで、その後は法律に基づいた、理論上は 100%の悉皆性と 100%の予後把握が担保されたがん統計が整備される。

表 1 罹患者数、登録精度、生存率集計対象者数 - 2009-11年 -

登録	集計対象年		DCO		第2がん		悪性以外		上皮下がん		解剖対象1		解剖対象2		全国集計対象年	全国集計対象者数	
	罹患者数		%		%		%		%		%		%				
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%			
北海道	123,543	31,374	25.4	7,952	6.4	9,201	7.4	9,201	7.4	9,201	7.4	87,224	70.6	4,320	5.0	82,904	67.1
青森県	27,710	1,052	3.8	3,005	10.8	2,169	7.8	2,169	7.8	2,169	7.8	24,028	86.7	4,173	17.4	19,855	71.7
宮城県	45,981	3,862	8.4	5,863	12.8	4,468	9.7	4,468	9.7	4,468	9.7	37,296	81.1	171	0.5	37,125	80.7
秋田県	18,344	1,360	7.4	1,482	8.1	1,585	8.6	1,585	8.6	1,585	8.6	15,869	86.5	196	1.2	15,673	85.4
山形県	26,103	1,160	4.4	4,434	17.0	2,345	9.0	2,345	9.0	2,345	9.0	21,703	83.1	1,938	8.9	19,765	75.7
福島県	39,808	861	2.2	2,811	7.1	3,077	7.7	3,077	7.7	3,077	7.7	36,511	91.7	3,209	8.8	33,302	83.7
茨城県	17,523	1,688	9.6	1,580	9.0	1,450	8.3	1,450	8.3	1,450	8.3	14,548	83.0	883	6.1	13,665	78.0
栃木県	12,071	1,066	8.8	1,393	11.5	893	7.4	893	7.4	893	7.4	9,850	81.6	586	5.9	9,264	76.7
群馬県	37,247	1,900	5.1	3,720	10.0	2,612	7.0	2,612	7.0	2,612	7.0	32,127	86.3	2,280	7.1	29,847	80.1
千葉県	63,595	3	0.0	6,026	9.5	4,411	6.9	4,411	6.9	4,411	6.9	58,085	91.3	10,956	18.9	47,129	74.1
神奈川県	136,737	18,950	13.9	13,408	9.8	8,595	6.3	9,336	6.8	9,336	6.8	106,284	77.7	603	0.6	105,681	77.3
新潟県	51,032	1,572	3.1	6,710	13.1	4,269	8.4	4,269	8.4	4,269	8.4	43,390	85.0	78	0.2	43,312	84.9
石川県	24,675	3,564	14.4	2,387	9.7	1,649	6.7	1,649	6.7	1,649	6.7	19,307	78.2	393	2.0	18,914	76.7
福井県	16,581	287	1.7	2,679	16.2	1,368	8.3	1,368	8.3	1,368	8.3	13,893	83.8	1,080	7.8	12,813	77.3
山梨県	10,942	925	8.5	983	9.0	786	7.2	786	7.2	786	7.2	9,249	84.5	998	10.8	8,251	75.4
長野県	15,397	915	5.9	908	5.9	1,622	10.5	1,622	10.5	1,622	10.5	13,756	89.3	791	5.8	12,965	84.2
愛知県	117,558	7,850	6.7	12,918	11.0	7,919	6.7	7,920	6.7	7,920	6.7	98,458	83.8	7,008	7.1	91,450	77.8
三重県	11,790	1,184	10.0	934	7.9	1,135	9.6	1,135	9.6	1,135	9.6	9,841	83.5	604	6.1	9,237	78.3
滋賀県	22,908	1,222	5.3	2,805	12.2	2,297	10.0	2,297	10.0	2,297	10.0	19,349	84.5	1,449	7.5	17,900	78.1
京都府	39,959	9,204	23.0	2,371	5.9	3,055	7.6	3,055	7.6	3,055	7.6	29,251	73.2	943	3.2	28,308	70.8
大阪府	161,726	14,063	8.7	20,666	12.8	13,065	8.1	13,065	8.1	13,065	8.1	130,263	80.5	8,039	6.2	122,224	75.6
奈良県	29,331	6,848	23.3	1,613	5.5	1,585	5.4	1,585	5.4	1,585	5.4	21,466	73.2	1,531	7.1	19,935	68.0
和歌山県	7,510	614	8.2	559	7.4	511	6.8	511	6.8	511	6.8	6,433	85.7	586	9.1	5,847	77.9
鳥取県	4,723	429	9.1	691	14.6	356	7.5	356	7.5	356	7.5	3,729	79.0	29	0.8	3,700	78.3
島根県	16,116	811	5.0	1,616	10.0	1,863	11.6	1,863	11.6	1,863	11.6	14,006	86.9	1,206	8.6	12,800	79.4
広島県	61,648	3,232	5.2	10,518	17.1	7,188	11.7	7,188	11.7	7,188	11.7	49,713	80.6	1,422	2.9	48,291	78.3
山口県	21,263	1,465	6.9	2,535	11.9	1,610	7.6	1,610	7.6	1,610	7.6	17,171	83.3	1,571	8.9	16,146	75.9
徳島県	16,907	4,099	24.2	1,095	6.5	1,064	6.3	1,064	6.3	1,064	6.3	12,122	71.7	850	7.0	11,272	66.7
愛媛県	31,186	4,892	15.7	2,449	7.9	2,576	8.3	2,576	8.3	2,576	8.3	24,393	78.2	1,323	5.4	23,070	74.0
高知県	5,545	552	10.0	363	6.5	318	5.7	318	5.7	318	5.7	4,700	84.8	501	10.7	4,199	75.7
佐賀県	5,722	383	6.7	860	15.0	437	7.6	437	7.6	437	7.6	4,596	80.3	486	10.6	4,110	71.8
長崎県	26,986	1,202	4.5	872	3.2	1,504	5.6	1,504	5.6	1,504	5.6	25,418	94.2	0	0.0	25,418	94.2
熊本県	24,271	1,871	7.7	2,807	11.6	1,988	8.2	1,988	8.2	1,988	8.2	20,052	82.6	668	3.3	19,384	79.9
大分県	8,804	1,197	13.6	484	5.5	728	8.3	728	8.3	728	8.3	7,275	82.6	848	11.7	6,427	73.0
鹿児島県	34,517	9,958	28.8	2,198	6.4	1,517	4.4	1,517	4.4	1,517	4.4	23,142	67.0	1,543	6.7	21,599	62.6
沖縄県	19,544	3,612	18.5	1,329	6.8	1,897	9.7	1,897	9.7	1,897	9.7	15,069	77.1	629	4.2	14,440	73.9
36登録計	1,335,303	145,227	10.9	135,024	10.1	103,113	7.7	103,856	7.8	103,856	7.8	1,080,113	81.7	63,891	6.8	1,016,222	76.1

DCO：死亡情報のみで登録された患者

第2がん：対象部位が第2がん以降（先行がんあり）

解剖対象1：DCO、第2がん以降、悪性以外、上皮下がん（大腸の結腸がんを含む）、年齢不詳および100歳以上を除外

解剖対象2：がん死亡からの確認調査で登録された患者

解剖対象1から解剖対象2を除く

*1 全数に占める割合 *2 解剖対象1に占める割合

表 2 診断から5年後の予後状況 —2009-11年、解析対象2—

集計対象地域：宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県

登録	対象者	死亡		生存		不詳		不詳を除く 生存割合%
		N	%*1	N	%*1	N	%*1	
宮城県	37,125	15,593	42.0	21,532	58.0	0	0.0	58.0
山形県	19,765	8,768	44.4	10,799	54.6	198	1.0	55.2
福島県	33,302	15,610	46.9	17,692	53.1	0	0.0	53.1
茨城県	13,665	6,303	46.1	7,362	53.9	0	0.0	53.9
栃木県	9,264	4,094	44.2	5,170	55.8	0	0.0	55.8
群馬県	29,847	13,564	45.4	16,283	54.6	0	0.0	54.6
福井県	12,813	5,576	43.5	7,237	56.5	0	0.0	56.5
山梨県	8,251	3,563	43.2	4,688	56.8	0	0.0	56.8
愛知県	91,450	40,106	43.9	51,344	56.1	0	0.0	56.1
滋賀県	17,900	7,833	43.8	10,067	56.2	0	0.0	56.2
大阪府	122,224	54,781	44.8	67,443	55.2	0	0.0	55.2
広島県	48,291	19,940	41.3	28,351	58.7	0	0.0	58.7
高知県	4,199	1,935	46.1	2,264	53.9	0	0.0	53.9
佐賀県	4,110	1,869	45.5	2,241	54.5	0	0.0	54.5
長崎県	25,418	10,875	42.8	14,326	56.4	217	0.9	56.8
新潟県	43,312	20,908	48.3	22,404	51.7	—	—	—
長野県	12,965	5,581	43.0	7,384	57.0	—	—	—
和歌山県	5,847	2,661	45.5	3,186	54.5	—	—	—
鳥取県	3,700	1,811	48.9	1,889	51.1	—	—	—
島根県	12,800	5,970	46.6	6,830	53.4	—	—	—
山口県	16,146	7,263	45.0	8,883	55.0	—	—	—
熊本県	19,384	8,512	43.9	10,872	56.1	—	—	—
22登録計	591,778	263,116	44.5	328,247	55.5	415	0.1	55.5

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1：対象者に占める割合

表 3 対象者数、5年相対生存率、標準誤差 —2009-11年、解析対象2—

集計対象地域：宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県

部位	男			女			男女計		
	対象者	相対生存率 %	SE	対象者	相対生存率 %	SE	対象者	相対生存率 %	SE
全部位	341,912	62.0	0.1	249,866	66.9	0.1	591,778	64.1	0.1
口腔・咽頭	8,227	60.7	0.6	3,846	69.4	0.9	12,073	63.5	0.5
食道	12,508	40.6	0.5	2,400	45.9	1.1	14,908	41.5	0.5
胃	66,348	67.5	0.2	30,543	64.6	0.3	96,891	66.6	0.2
大腸（結腸・直腸）	51,266	72.4	0.3	39,511	70.1	0.3	90,777	71.4	0.2
結腸	30,763	72.8	0.3	27,891	69.4	0.3	58,654	71.2	0.2
直腸	20,503	71.7	0.4	11,620	71.9	0.5	32,123	71.8	0.3
肝および肝内胆管	19,519	36.2	0.4	9,946	35.1	0.5	29,465	35.8	0.3
胆のう・胆管	7,440	26.8	0.6	7,322	22.1	0.5	14,762	24.5	0.4
膵臓	10,929	8.9	0.3	9,766	8.1	0.3	20,695	8.5	0.2
喉頭	3,402	81.8	0.9	248	81.7	3.1	3,650	81.8	0.9
肺	49,105	29.5	0.2	21,961	46.8	0.4	71,066	34.9	0.2
皮膚 *1	6,041	94.4	0.8	6,231	94.6	0.7	12,272	94.6	0.5
乳房 *2				53,603	92.3	0.2	53,603	92.3	0.2
子宮				18,308	78.7	0.3	18,308	78.7	0.3
子宮頸部				8,656	76.5	0.5	8,656	76.5	0.5
子宮体部				9,521	81.3	0.4	9,521	81.3	0.4
卵巣				6,863	60.0	0.6	6,863	60.0	0.6
前立腺	53,642	99.1	0.2				53,642	99.1	0.2
膀胱	10,926	76.5	0.6	3,346	63.0	1.0	14,272	73.3	0.5
腎・尿路（膀胱除く）	10,252	70.4	0.6	4,786	64.8	0.8	15,038	68.6	0.5
脳・中枢神経系	1,934	34.1	1.1	1,593	37.4	1.3	3,527	35.6	0.8
甲状腺	2,492	91.3	0.8	7,642	95.8	0.3	10,134	94.7	0.3
悪性リンパ腫	10,188	66.4	0.6	9,035	68.6	0.6	19,223	67.5	0.4
多発性骨髄腫	2,207	41.9	1.2	2,143	43.6	1.2	4,350	42.8	0.8
白血病	4,844	43.4	0.8	3,556	44.9	0.9	8,400	44.0	0.6

解析対象2：解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

表 4 進行度別分布 —2009-11年、解析対象2—

集計参加登録:宮城県,山形県,福島県,茨城県,栃木県,群馬県,新潟県,福井県,山梨県,長野県,愛知県,滋賀県,大阪府,和歌山県,鳥取県,島根県,広島県,山口県,高知県,佐賀県,長崎県,熊本県

部位	限局		領域(*3)		遠隔		進行度不明 %
	N	分布	N	分布	N	分布	
全部位	260,826	44.1	149,085	25.2	109,308	18.5	12.3
口腔・咽頭	4,381	36.3	6,175	51.1	554	4.6	8.0
食道	4,313	28.9	6,012	40.3	3,220	21.6	9.1
胃	52,191	53.9	20,021	20.7	17,705	18.3	7.2
大腸(結腸・直腸)	38,862	42.8	27,496	30.3	17,738	19.5	7.4
結腸	24,987	42.6	17,571	30.0	11,929	20.3	7.1
直腸	13,875	43.2	9,925	30.9	5,809	18.1	7.8
肝および肝内胆管	16,599	56.3	5,756	19.5	2,854	9.7	14.4
胆のう・胆管	2,267	15.4	6,528	44.2	3,736	25.3	15.1
膵臓	1,259	6.1	7,350	35.5	9,915	47.9	10.5
喉頭	2,533	69.4	800	21.9	70	1.9	6.8
肺	19,692	27.7	18,159	25.6	27,089	38.1	8.6
皮膚*1	9,851	80.3	1,019	8.3	145	1.2	10.2
乳房*2	31,250	58.0	15,332	28.4	2,710	5.0	8.6
子宮	9,852	53.8	5,541	30.3	1,722	9.4	6.5
子宮頸部	4,051	46.8	3,196	36.9	820	9.5	6.8
子宮体部	5,780	60.7	2,331	24.5	877	9.2	5.6
卵巣	1,721	25.1	3,261	47.5	1,217	17.7	9.7
前立腺	32,398	60.4	8,548	15.9	5,684	10.6	13.1
膀胱	9,969	69.9	2,116	14.8	602	4.2	11.1
腎・尿路(膀胱除く)	8,349	55.5	3,132	20.8	2,485	16.5	7.1
脳・中枢神経系	2,035	57.7	394	11.2	75	2.1	29.0
甲状腺	4,216	41.6	4,735	46.7	513	5.1	6.6
悪性リンパ腫	3,913	20.4	2,735	14.2	7,248	37.7	27.7

解析対象2:解析対象1から遡り調査患者を除外

*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

*3 領域(所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤)

表 5 進行度別 5 年相対生存率、標準誤差 —2009-11 年、解析対象 2—

集計対象地域：宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県

部位	臨床進行度	男			女			男女計		
		対象者数	5年相対生存率 (%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率 (%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率 (%)	標準誤差
全部位	限局	150,174	92.3	0.1	110,652	92.6	0.1	260,826	92.4	0.1
	領域	81,954	52.9	0.2	67,131	64.4	0.2	149,085	58.1	0.1
	遠隔	68,169	15.0	0.2	41,139	16.7	0.2	109,308	15.7	0.1
	不明	35,144	48.6	0.3	25,711	46.6	0.3	60,855	47.8	0.2
	合計	341,912	62.0	0.1	249,866	66.9	0.1	591,778	64.1	0.1
胃	限局	36,263	97.3	0.2	15,928	95.4	0.3	52,191	96.7	0.2
	領域	13,578	51.9	0.5	6,443	51.9	0.7	20,021	51.9	0.4
	遠隔	12,156	6.9	0.2	5,549	5.8	0.3	17,705	6.6	0.2
	不明	4,350	36.5	0.9	2,623	31.8	1.1	6,973	34.7	0.7
	合計	66,348	67.5	0.2	30,543	64.6	0.3	96,891	66.6	0.2
大腸（結腸・直腸）*2	限局	22,825	97.1	0.3	16,037	97.5	0.3	38,862	97.3	0.2
	領域	14,899	75.7	0.5	12,597	74.8	0.5	27,496	75.3	0.3
	遠隔	9,908	18.2	0.4	7,830	16.2	0.4	17,738	17.3	0.3
	不明	3,633	52.3	1.0	3,047	45.1	1.0	6,680	49.0	0.7
	合計	51,266	72.4	0.3	39,511	70.1	0.3	90,777	71.4	0.2
結腸	限局	13,840	98.3	0.4	11,147	98.1	0.4	24,987	98.2	0.3
	領域	8,679	76.9	0.6	8,892	75.1	0.6	17,571	76.0	0.4
	遠隔	6,127	17.3	0.5	5,802	14.9	0.5	11,929	16.2	0.4
	不明	2,116	51.1	1.3	2,050	42.5	1.3	4,166	46.9	0.9
	合計	30,763	72.8	0.3	27,891	69.4	0.3	58,654	71.2	0.2
直腸	限局	8,985	95.3	0.5	4,890	96.4	0.5	13,875	95.7	0.4
	領域	6,220	74.0	0.7	3,705	73.9	0.9	9,925	74.0	0.5
	遠隔	3,781	19.7	0.7	2,028	19.8	0.9	5,809	19.7	0.6
	不明	1,517	53.9	1.5	997	50.3	1.8	2,514	52.5	1.1
	合計	20,503	71.7	0.4	11,620	71.9	0.5	32,123	71.8	0.3
肝および肝内胆管	限局	10,753	52.9	0.6	5,846	49.3	0.7	16,599	51.6	0.4
	領域	4,136	16.2	0.6	1,620	13.3	0.9	5,756	15.4	0.5
	遠隔	1,970	3.5	0.4	884	2.2	0.5	2,854	3.1	0.4
	不明	2,660	23.9	0.9	1,596	22.9	1.2	4,256	23.5	0.7
	合計	19,519	36.2	0.4	9,946	35.1	0.5	29,465	35.8	0.3
肺	限局	11,735	76.8	0.5	7,957	92.9	0.4	19,692	83.5	0.4
	領域	13,602	28.7	0.4	4,557	38.0	0.8	18,159	31.1	0.4
	遠隔	19,534	5.2	0.2	7,555	9.6	0.4	27,089	6.4	0.2
	不明	4,234	13.4	0.6	1,892	19.7	1.0	6,126	15.4	0.5
	合計	49,105	29.5	0.2	21,961	46.8	0.4	71,066	34.9	0.2
乳房	限局	—	—	—	31,250	99.3	0.1	31,422	99.3	0.1
	領域	—	—	—	15,332	90.0	0.3	15,430	90.0	0.3
	遠隔	—	—	—	2,710	39.3	1.0	2,729	39.3	1.0
	不明	—	—	—	4,311	81.1	0.7	4,329	81.1	0.7
	合計	—	—	—	53,603	92.3	0.2	53,910	92.3	0.2
子宮	限局	—	—	—	9,852	95.7	0.3	9,852	95.7	0.3
	領域	—	—	—	5,541	69.4	0.7	5,541	69.4	0.7
	遠隔	—	—	—	1,722	21.0	1.0	1,722	21.0	1.0
	不明	—	—	—	1,193	63.6	1.5	1,193	63.6	1.5
	合計	—	—	—	18,308	78.7	0.3	18,308	78.7	0.3
子宮頸部	限局	—	—	—	4,051	95.7	0.4	4,051	95.7	0.4
	領域	—	—	—	3,196	66.8	0.9	3,196	66.8	0.9
	遠隔	—	—	—	820	22.5	1.5	820	22.5	1.5
	不明	—	—	—	589	69.7	2.1	589	69.7	2.1
	合計	—	—	—	8,656	76.5	0.5	8,656	76.5	0.5
子宮体部	限局	—	—	—	5,780	95.7	0.4	5,780	95.7	0.4
	領域	—	—	—	2,331	73.2	1.0	2,331	73.2	1.0
	遠隔	—	—	—	877	20.1	1.4	877	20.1	1.4
	不明	—	—	—	533	60.0	2.3	533	60.0	2.3
	合計	—	—	—	9,521	81.3	0.4	9,521	81.3	0.4
前立腺	限局	32,398	100.0	0.2	—	—	—	32,398	100.0	0.2
	領域	8,548	99.2	0.5	—	—	—	8,548	99.2	0.5
	遠隔	5,684	53.4	0.8	—	—	—	5,684	53.4	0.8
	不明	7,012	93.4	0.7	—	—	—	7,012	93.4	0.7
	合計	53,642	99.1	0.2	—	—	—	53,642	99.1	0.2

*1 廻り調査患者を含まない

*2 粘膜がんを含まない

表 6 性別年齢階級別 5 年相生存率 —2009-11 年、解析対象 2—

部位	男										女										男女計																																						
	15-44		45-54		55-64		65-74		75-		差		15-44		45-54		55-64		65-74		75-		差		15-44		45-54		55-64		65-74		75-		差																								
	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差	率	差																									
全部位	74.8	66.8	64.2	64.7	59.5	49.6	55.8	19.0	85.9	82.6	74.7	67.3	51.5	34.4	82.4	76.3	68.5	65.5	53.9	28.5	79.7	70.0	62.6	59.5	49.6	55.8	19.0	85.9	82.6	74.7	67.3	51.5	34.4	82.4	76.3	68.5	65.5	53.9	28.5	79.7	70.0	62.6	59.5	49.6	55.8	19.0	85.9	82.6	74.7	67.3	51.5	34.4	82.4	76.3	68.5	65.5	53.9	28.5	
口腔・咽頭	37.1	49.0	43.2	41.4	34.7	2.4	48.8	52.6	69.0	70.5	71.6	57.8	8.4	66.9	71.9	71.8	70.5	59.5	7.4	37.1	49.0	43.2	41.4	34.7	2.4	48.8	52.6	69.0	70.5	71.6	57.8	8.4	66.9	71.9	71.8	70.5	59.5	7.4	37.1	49.0	43.2	41.4	34.7	2.4	48.8	52.6	69.0	70.5	71.6	57.8	8.4	66.9	71.9	71.8	70.5	59.5	7.4		
胃	75.5	74.7	73.9	73.8	68.8	6.7	75.6	77.4	74.8	63.1	12.5	75.5	75.9	74.6	74.2	65.8	9.7	75.5	74.7	73.9	73.8	68.8	6.7	75.6	77.4	74.8	63.1	12.5	75.5	75.9	74.6	74.2	65.8	9.7	75.5	74.7	73.9	73.8	68.8	6.7	75.6	77.4	74.8	63.1	12.5	75.5	75.9	74.6	74.2	65.8	9.7								
大腸(結腸・直腸)	72.0	72.8	74.2	74.9	70.3	1.8	71.9	75.6	74.8	74.5	63.6	8.3	72.0	74.1	74.4	74.7	66.6	5.4	72.0	72.8	74.2	74.9	70.3	1.8	71.9	75.6	74.8	74.5	63.6	8.3	72.0	74.1	74.4	74.7	66.6	5.4	72.0	72.8	74.2	74.9	70.3	1.8	71.9	75.6	74.8	74.5	63.6	8.3	72.0	74.1	74.4	74.7	66.6	5.4					
結腸	79.8	76.6	73.7	72.2	65.8	14.0	81.4	80.1	77.2	75.7	61.6	19.7	80.5	77.9	74.8	73.3	63.9	16.6	79.8	76.6	73.7	72.2	65.8	14.0	81.4	80.1	77.2	75.7	61.6	19.7	80.5	77.9	74.8	73.3	63.9	16.6	79.8	76.6	73.7	72.2	65.8	14.0	81.4	80.1	77.2	75.7	61.6	19.7	80.5	77.9	74.8	73.3	63.9	16.6					
直腸	42.3	41.0	38.2	38.0	30.9	11.4	51.8	48.4	45.6	39.4	28.3	23.4	44.6	42.3	39.8	38.5	29.8	14.8	42.3	41.0	38.2	38.0	30.9	11.4	51.8	48.4	45.6	39.4	28.3	23.4	44.6	42.3	39.8	38.5	29.8	14.8	42.3	41.0	38.2	38.0	30.9	11.4	51.8	48.4	45.6	39.4	28.3	23.4	44.6	42.3	39.8	38.5	29.8	14.8					
肝および肝内胆管	43.4	41.2	33.2	30.4	20.7	22.7	28.7	36.5	31.3	29.9	16.8	11.9	38.8	39.2	32.5	30.2	18.5	20.3	43.4	41.2	33.2	30.4	20.7	22.7	28.7	36.5	31.3	29.9	16.8	11.9	38.8	39.2	32.5	30.2	18.5	20.3	43.4	41.2	33.2	30.4	20.7	22.7	28.7	36.5	31.3	29.9	16.8	11.9	38.8	39.2	32.5	30.2	18.5	20.3					
胆のう・胆管	26.1	15.8	9.4	9.4	5.7	20.4	27.4	16.0	10.2	9.9	5.2	22.2	26.6	15.9	9.7	9.6	5.4	21.2	26.1	15.8	9.4	9.4	5.7	20.4	27.4	16.0	10.2	9.9	5.2	22.2	26.6	15.9	9.7	9.6	5.4	21.2	26.1	15.8	9.4	9.4	5.7	20.4	27.4	16.0	10.2	9.9	5.2	22.2	26.6	15.9	9.7	9.6	5.4	21.2					
膵臓	95.8	83.6	85.0	80.9	79.7	16.1	89.0	88.2	84.0	84.7	73.9	15.1	93.9	84.2	84.9	81.2	79.3	14.5	95.8	83.6	85.0	80.9	79.7	16.1	89.0	88.2	84.0	84.7	73.9	15.1	93.9	84.2	84.9	81.2	79.3	14.5	95.8	83.6	85.0	80.9	79.7	16.1	89.0	88.2	84.0	84.7	73.9	15.1	93.9	84.2	84.9	81.2	79.3	14.5					
喉頭	43.9	41.0	37.3	31.7	21.2	22.7	50.7	56.0	57.5	53.6	34.8	15.9	46.9	46.4	43.4	38.1	25.7	21.2	43.9	41.0	37.3	31.7	21.2	22.7	50.7	56.0	57.5	53.6	34.8	15.9	46.9	46.4	43.4	38.1	25.7	21.2	43.9	41.0	37.3	31.7	21.2	22.7	50.7	56.0	57.5	53.6	34.8	15.9	46.9	46.4	43.4	38.1	25.7	21.2					
肺	93.6	93.0	91.1	93.0	95.8	2.2	93.1	91.6	93.1	95.3	94.7	1.7	93.5	92.8	92.0	94.0	95.2	1.7	93.6	93.0	91.1	93.0	95.8	2.2	93.1	91.6	93.1	95.3	94.7	1.7	93.5	92.8	92.0	94.0	95.2	1.7	93.6	93.0	91.1	93.0	95.8	2.2	93.1	91.6	93.1	95.3	94.7	1.7	93.5	92.8	92.0	94.0	95.2	1.7					
皮膚*1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳房*2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮頸部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子宮体部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	72.8	95.4	98.1	99.5	98.9	26.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.8	95.4	98.1	99.5	98.9	26.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.8	95.4	98.1	99.5	98.9	26.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前立腺	88.4	84.7	83.2	79.2	69.7	18.7	61.5	82.9	78.5	74.5	53.3	8.1	85.5	84.5	82.4	78.3	64.7	20.8	88.4	84.7	83.2	79.2	69.7	18.7	61.5	82.9	78.5	74.5	53.3	8.1	85.5	84.5	82.4	78.3	64.7	20.8	88.4	84.7	83.2	79.2	69.7	18.7	61.5	82.9	78.5	74.5	53.3	8.1	85.5	84.5	82.4	78.3	64.7	20.8					
膀胱	88.0	83.0	75.4	68.3	59.3	28.8	84.8	82.8	80.5	68.7	49.2	35.6	87.2	83.0	76.7	68.4	55.1	32.1	88.0	83.0	75.4	68.3	59.3	28.8	84.8	82.8	80.5	68.7	49.2	35.6	87.2	83.0	76.7	68.4	55.1	32.1	88.0	83.0	75.4	68.3	59.3	28.8	84.8	82.8	80.5	68.7	49.2	35.6	87.2	83.0	76.7	68.4	55.1	32.1					
腎・尿路(膀胱除く)	62.3	35.2	27.9	16.3	13.8	48.4	64.5	56.8	36.9	24.4	11.1	53.5	63.2	44.6	31.7	20.0	12.4	50.9	62.3	35.2	27.9	16.3	13.8	48.4	64.5	56.8	36.9	24.4	11.1	53.5	63.2	44.6	31.7	20.0	12.4	50.9	62.3	35.2	27.9	16.3	13.8	48.4	64.5	56.8	36.9	24.4	11.1	53.5	63.2	44.6	31.7	20.0	12.4	50.9					
脳・中枢神経系	98.6	96.8	92.7	87.3	74.1	24.5	99.7	99.5	98.1	96.1	79.9	19.8	99.5	99.0	96.8	94.0	78.7	20.8	98.6	96.8	92.7	87.3	74.1	24.5	99.7	99.5	98.1	96.1	79.9	19.8	99.5	99.0	96.8	94.0	78.7	20.8	98.6	96.8	92.7	87.3	74.1	24.5	99.7	99.5	98.1	96.1	79.9	19.8	99.5	99.0	96.8	94.0	78.7	20.8					
甲状腺	85.1	80.5	76.1	65.3	48.5	36.6	88.8	86.1	83.1	70.8	49.2	39.6	86.7	83.1	79.2	67.8	48.9	37.9	85.1	80.5	76.1	65.3	48.5	36.6	88.8	86.1	83.1	70.8	49.2	39.6	86.7	83.1	79.2	67.8	48.9	37.9	85.1	80.5	76.1	65.3	48.5	36.6	88.8	86.1	83.1	70.8	49.2	39.6	86.7	83.1	79.2	67.8	48.9	37.9					
悪性リンパ腫	73.1	74.2	51.3	45.6	25.9	47.2	70.3	72.9	60.5	45.5	31.5	38.8	71.7	73.6	55.3	45.5	29.0	42.6	73.1	74.2	51.3	45.6	25.9	47.2	70.3	72.9	60.5	45.5	31.5	38.8	71.7	73.6	55.3	45.5	29.0	42.6	73.1	74.2	51.3	45.6	25.9	47.2	70.3	72.9	60.5	45.5	31.5	38.8	71.7	73.6	55.3	45.5	29.0	42.6					
多発性骨髄腫	71.2	59.4	44.3	27.6	18.4	52.8	75.2	64.5	47.3	32.0	19.8	55.5	72.9	61.5	45.5	29.3	19.1	53.8	71.2	59.4	44.3	27.6	18.4	52.8	75.2	64.5	47.3	32.0	19.8	55.5	72.9	61.5	45.5	29.3	19.1	53.8	71.2	59.4	44.3	27.6	18.4	52.8	75.2	64.5	47.3	32.0	19.8	55.5	72.9	61.5	45.5	29.3	19.1	53.8					
白血病	解析対象 2：解析対象 1 から通り調査患者を除外																																																										

差：年齢階級別生存率の最大と最小との差
*1 悪性黒色腫を含む *2 女性のみ

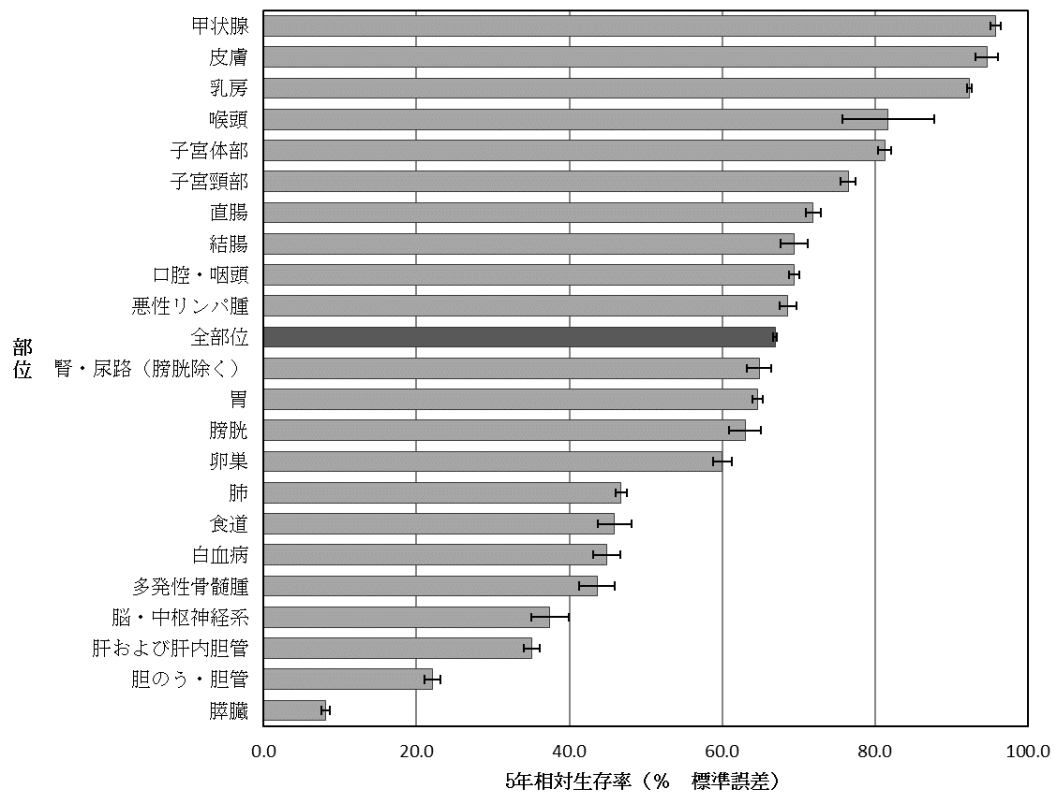
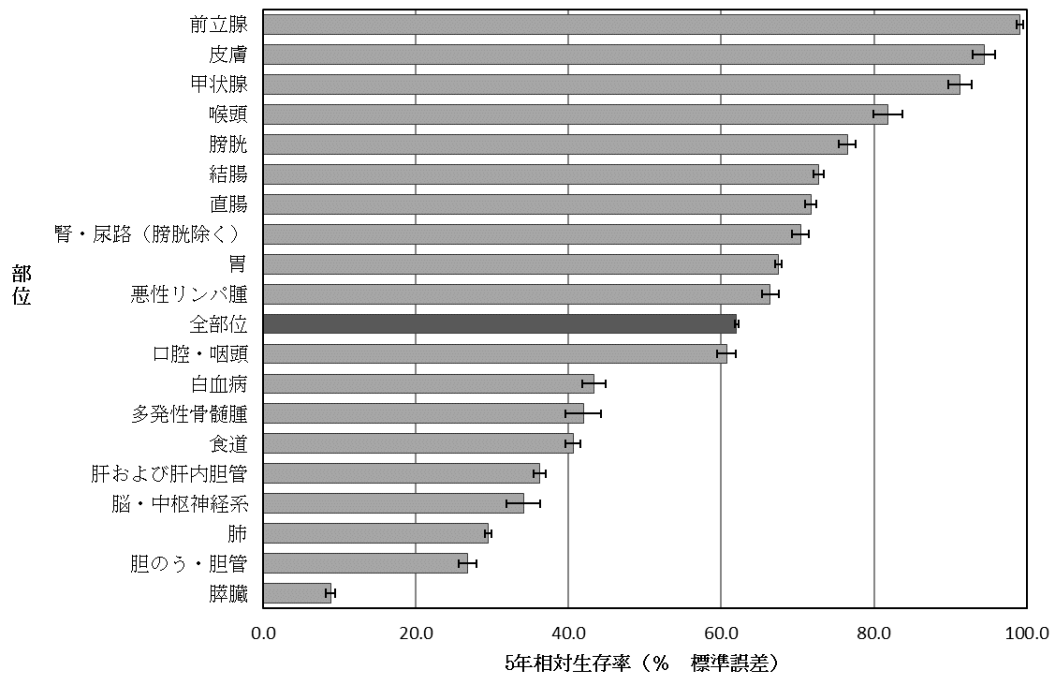
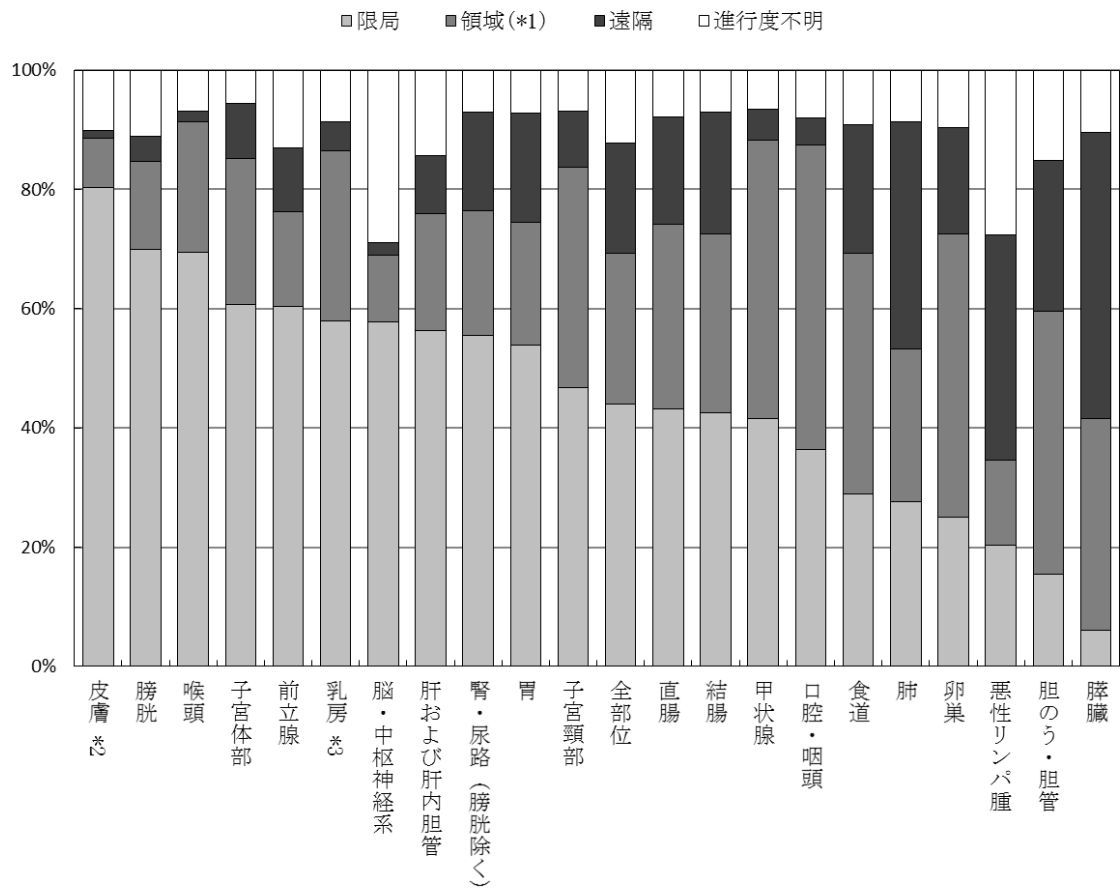


図 1 部位別 5 年相対生存率 —2009-11 年、解析対象 2—
 上段：男性、下段：女性



*1 領域 (所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤) *2 悪性黒色腫を含む *3 女性のみ

図 2 臨床進行度分布 —2009-11年、解析対象2—

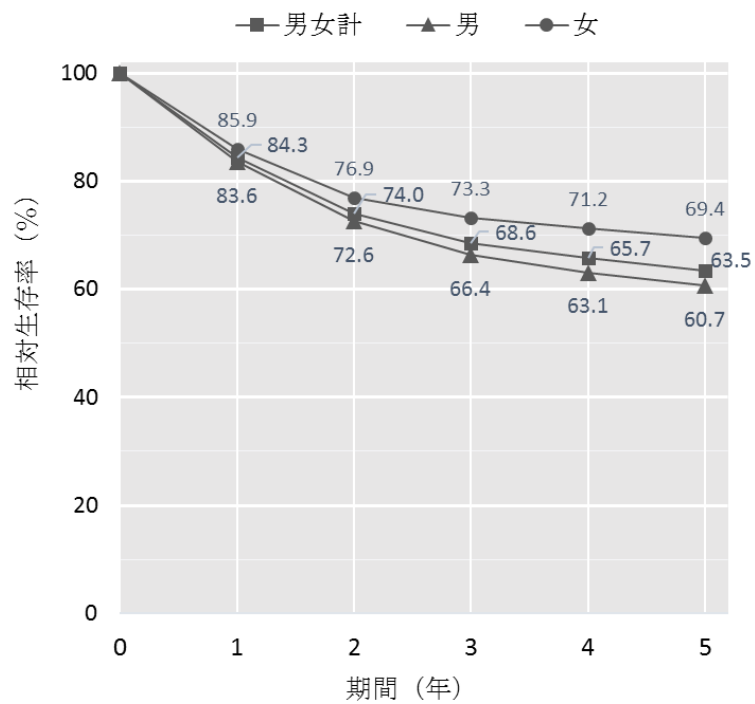
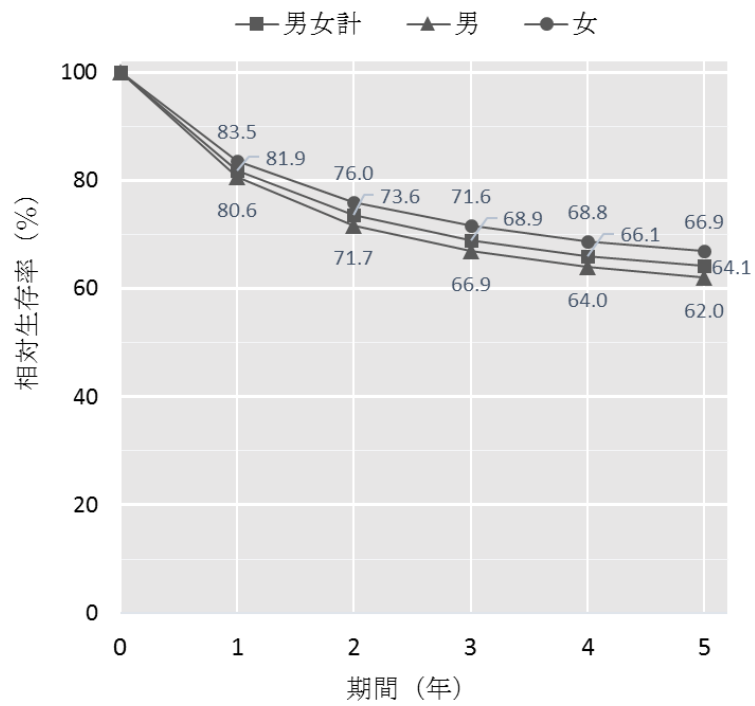


図 3 性別相対生存率 —2009-11 年、解析対象 2—
上：全部位、下：口腔・咽頭

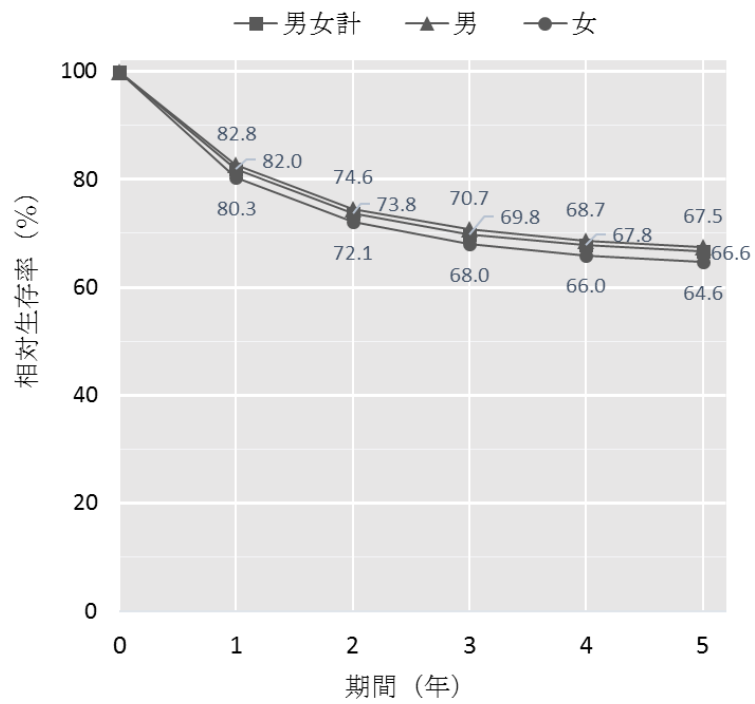
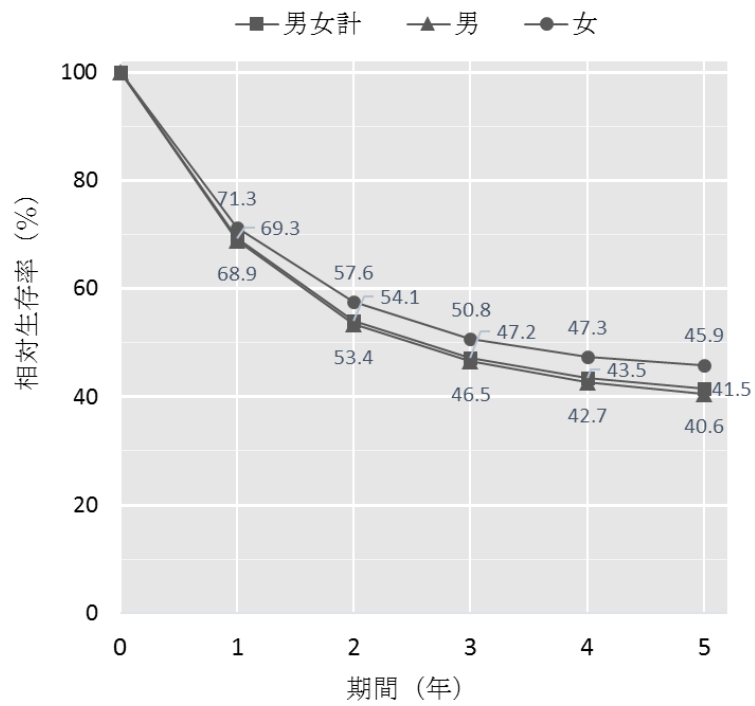


図 3 (続き) 上: 食道、下: 胃

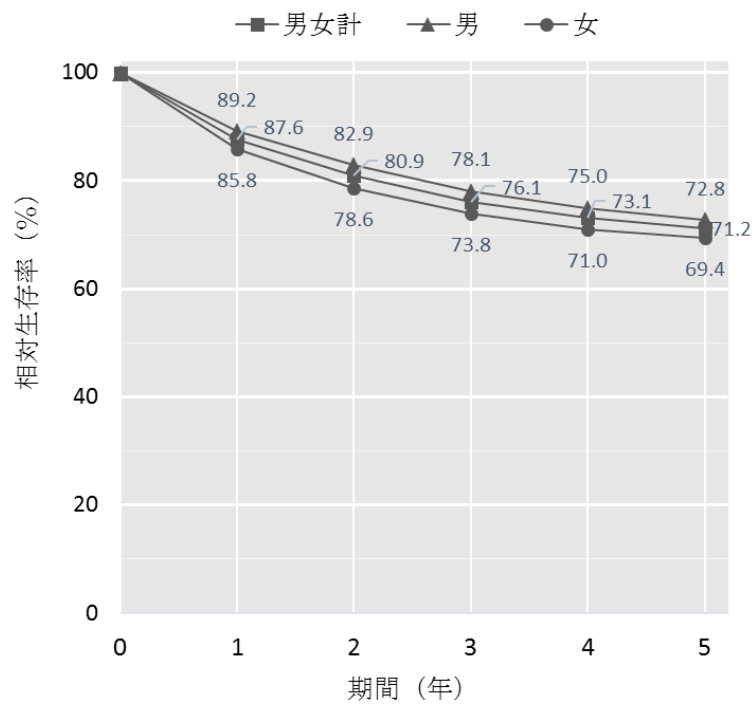
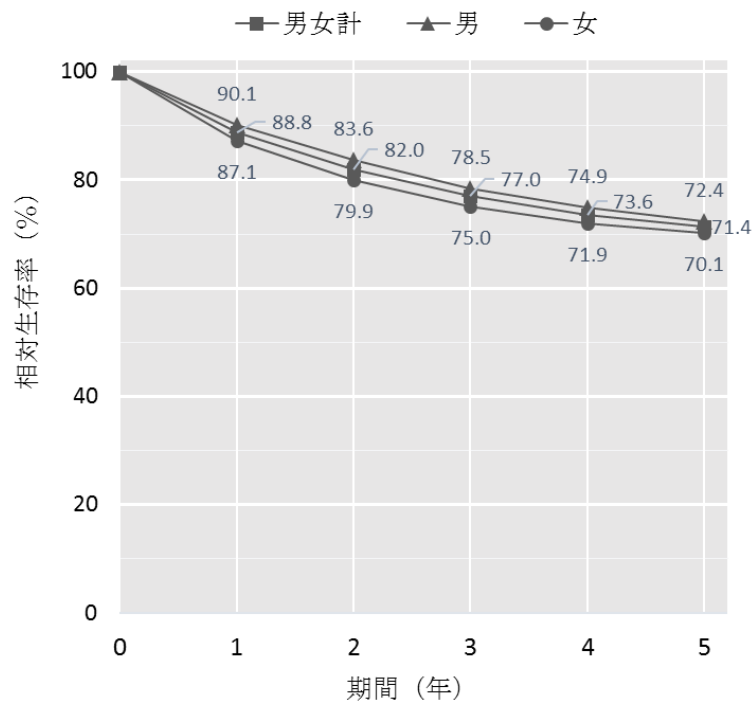


図 3 (続き) 上: 大腸 (結腸・直腸)、下: 結腸

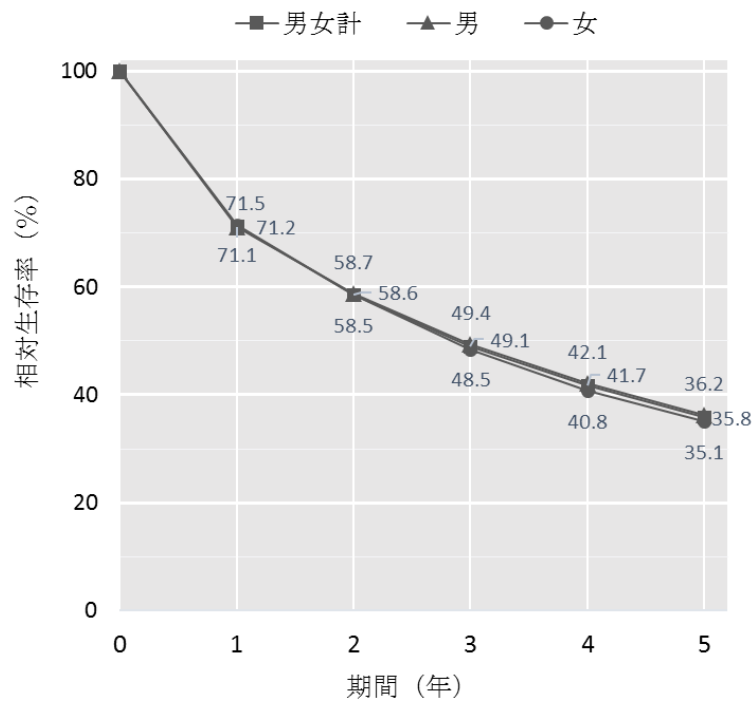
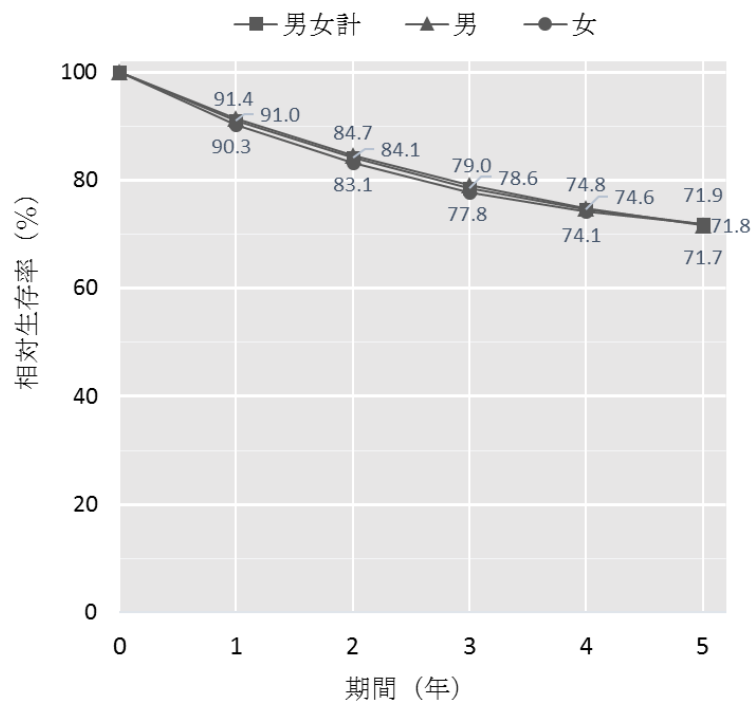


図 3 (続き) 上: 直腸、下: 肝および肝内胆管

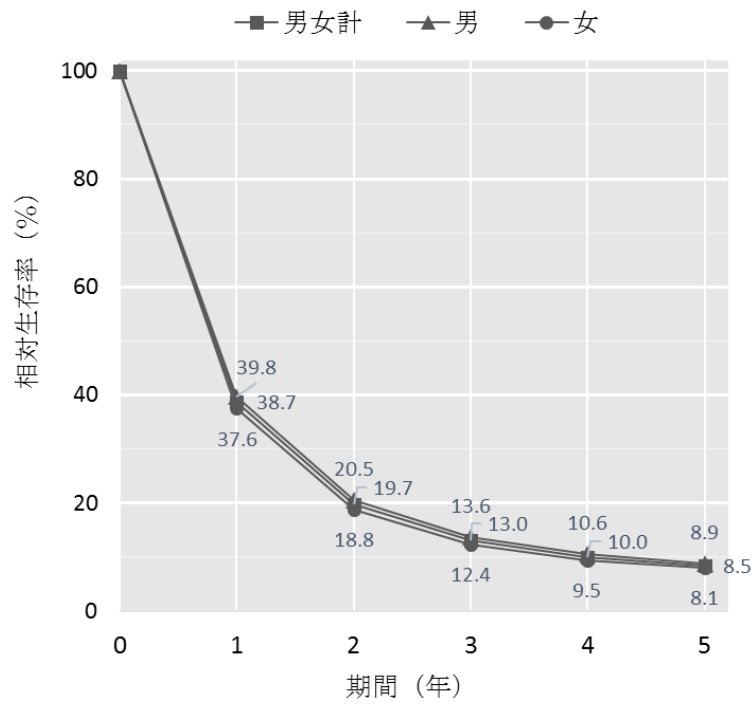
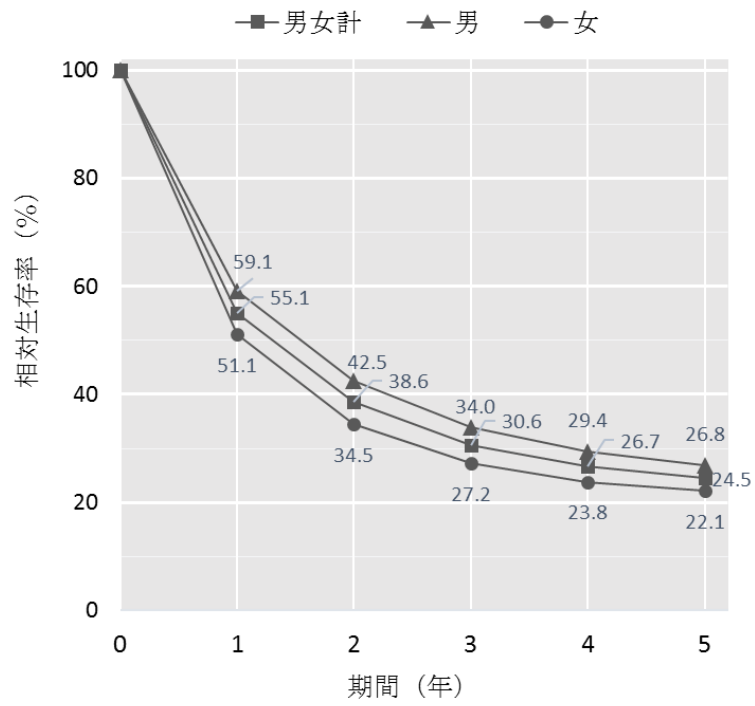


図 3 (続き) 上:胆のう・胆管、下:膵臓

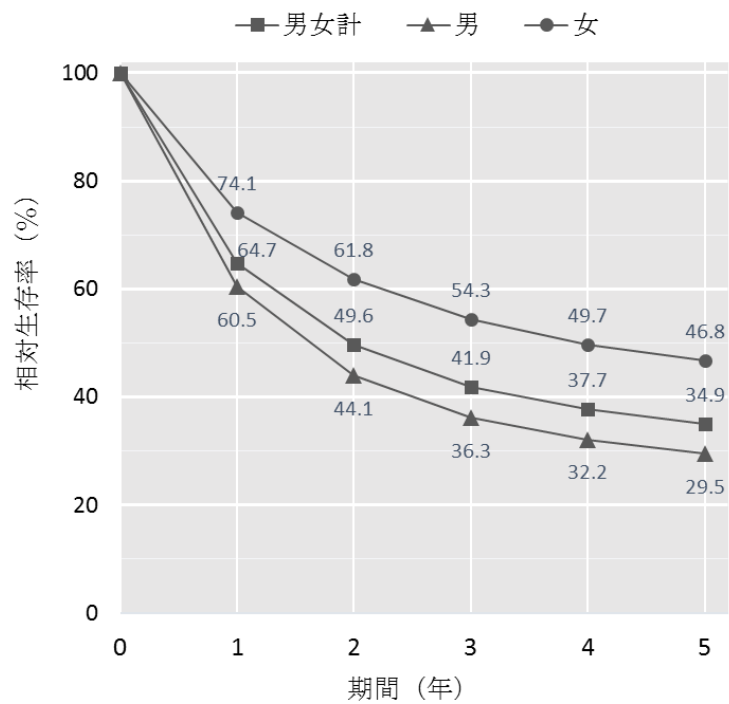
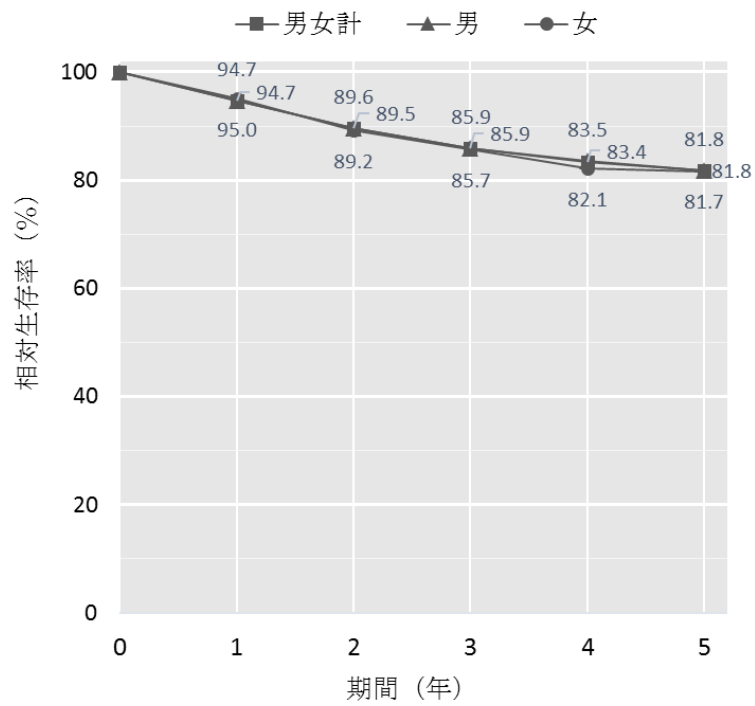


図 3 (続き) 上: 喉頭、下: 肺

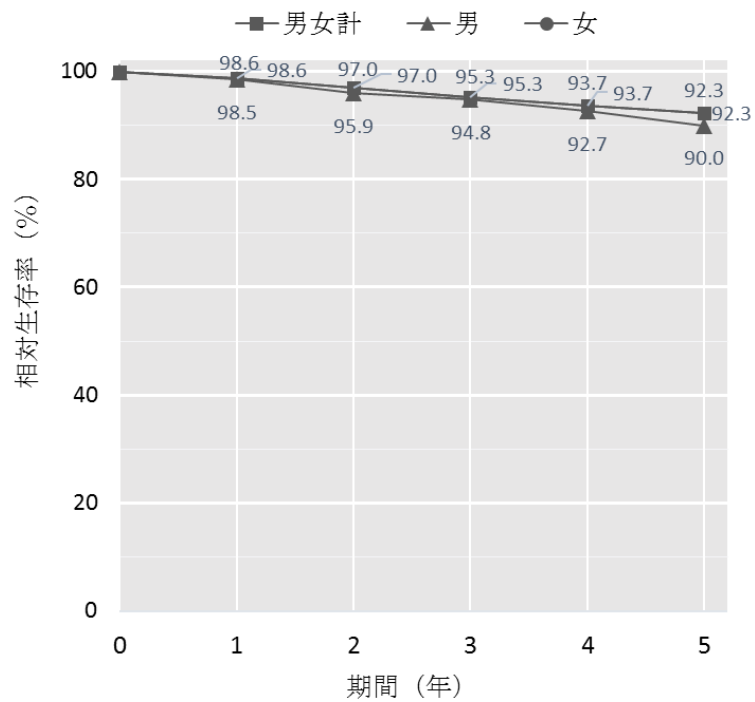
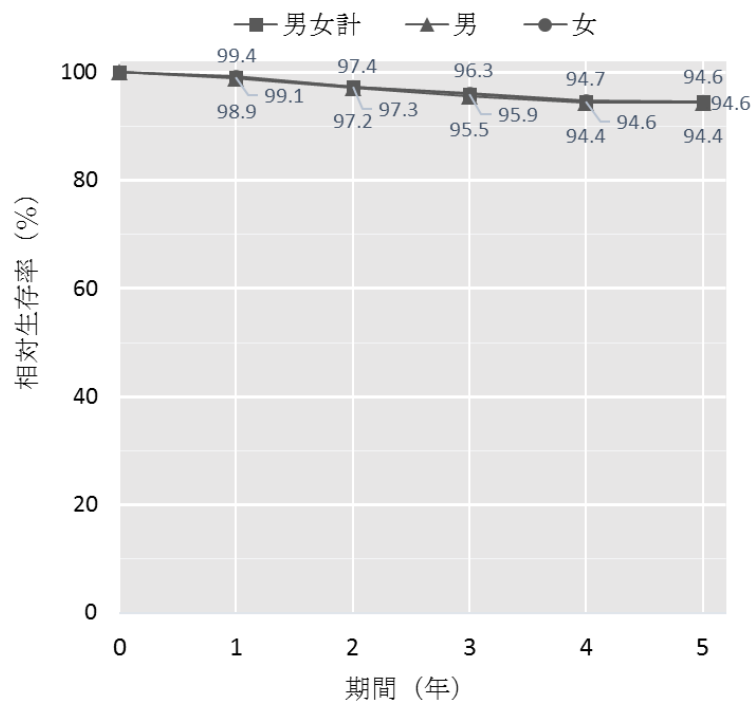


図 3 (続き) 上:皮膚、下:乳房

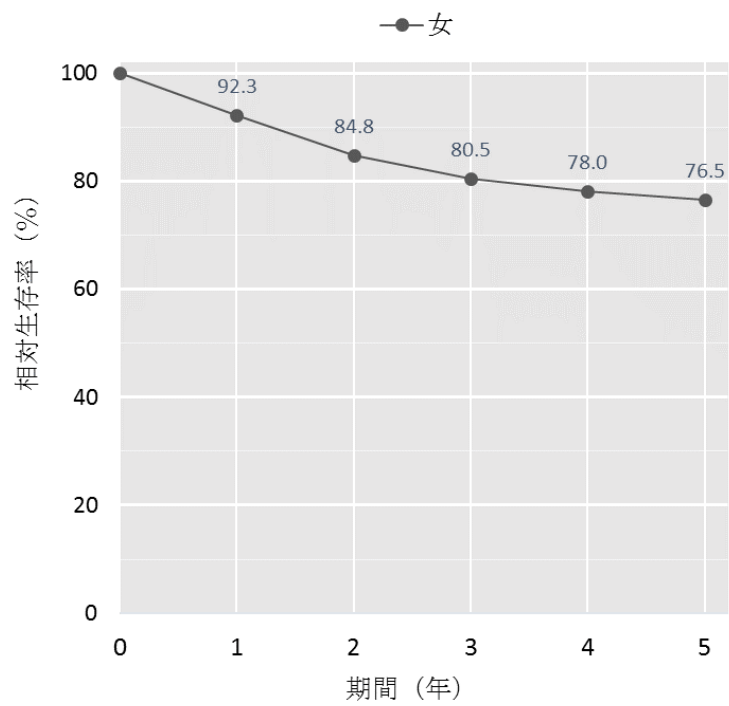
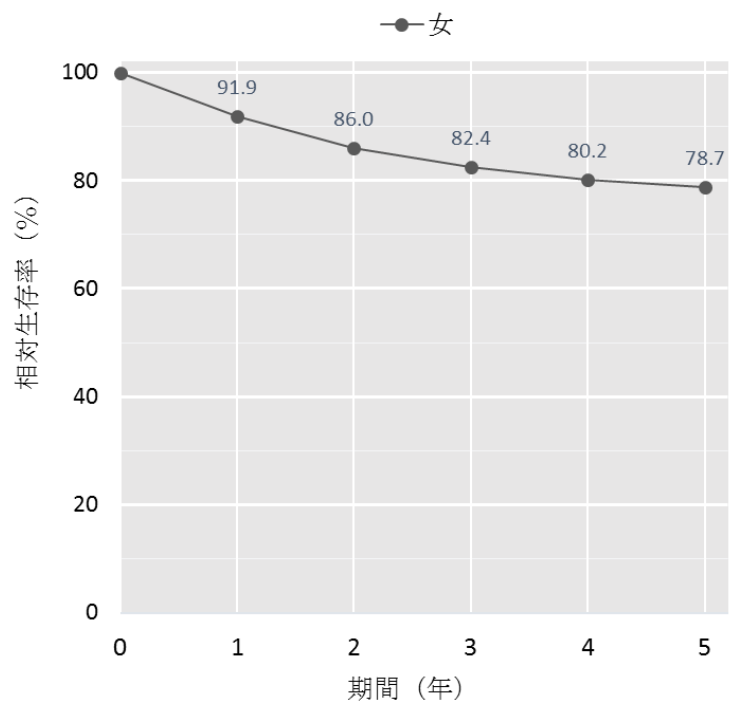


図 3 (続き) 上:子宮、下:子宮頸部

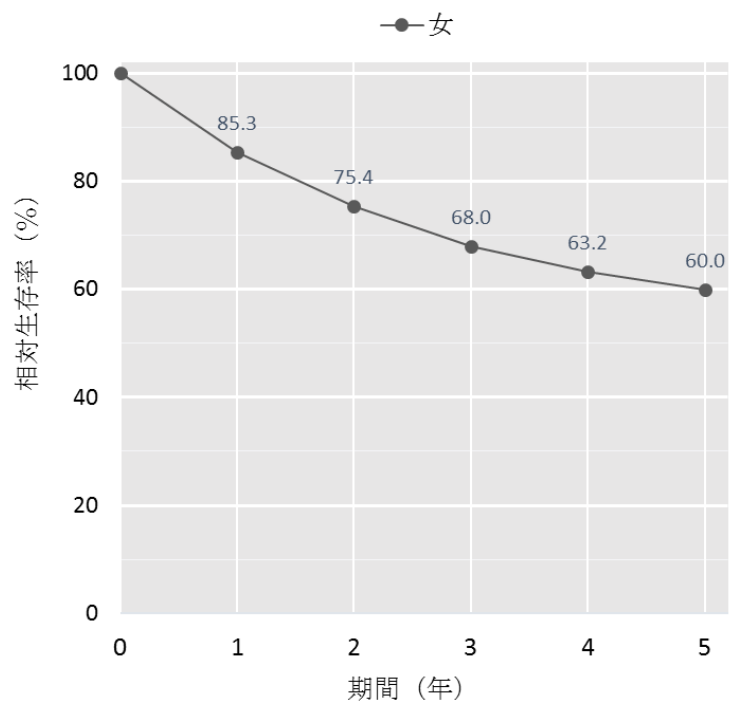
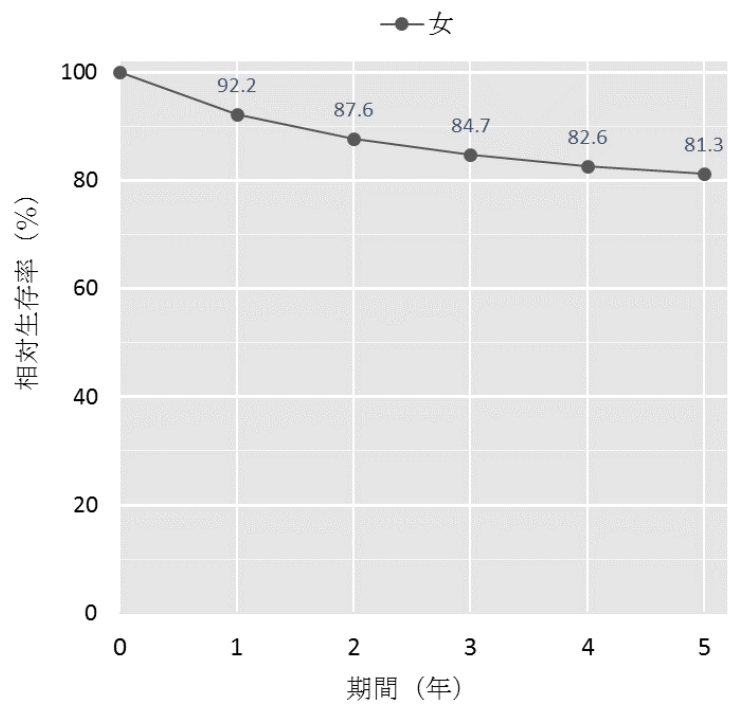


図 3 (続き) 上: 子宮体部、下: 卵巣

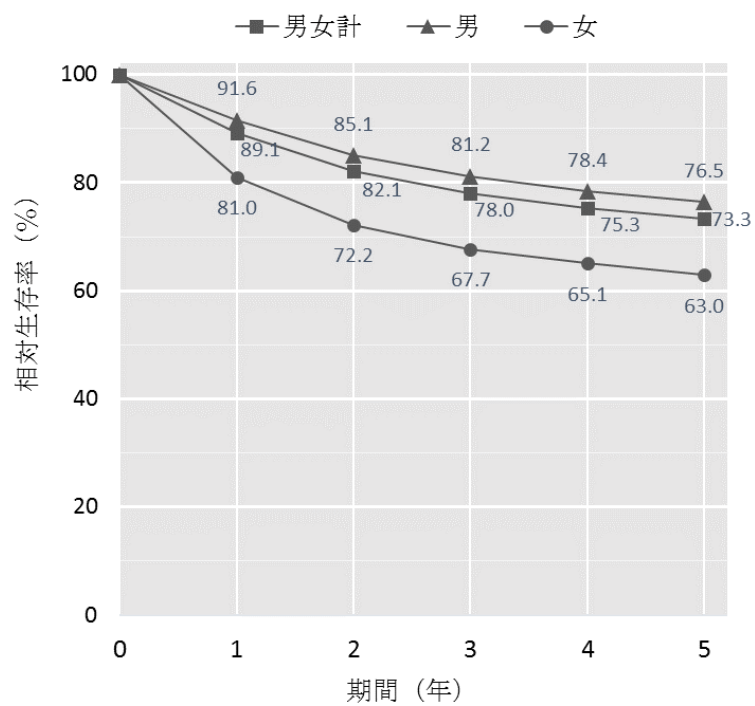
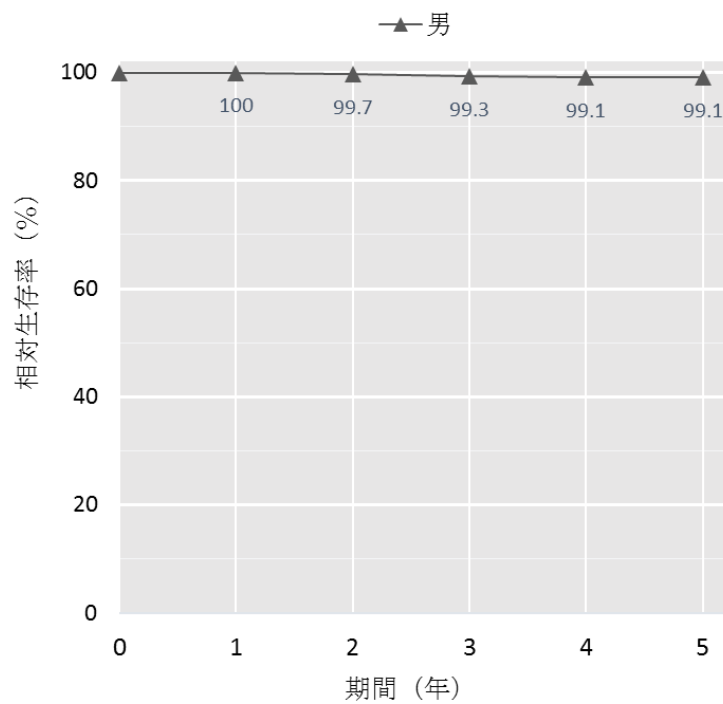


図 3 (続き) 上：前立腺、下：膀胱

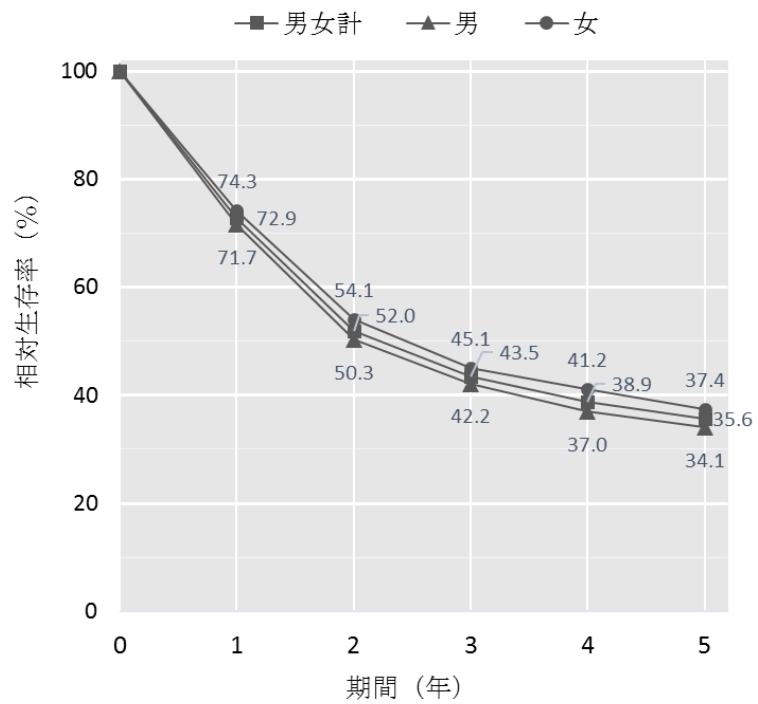
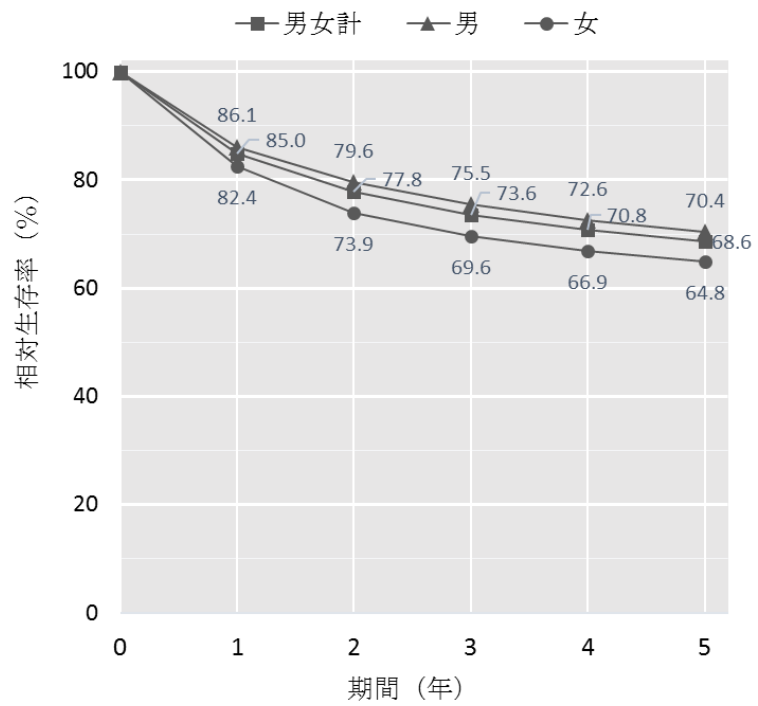


図 3 (続き) 上: 腎・尿路 (膀胱除く)、下: 脳・中枢神経系

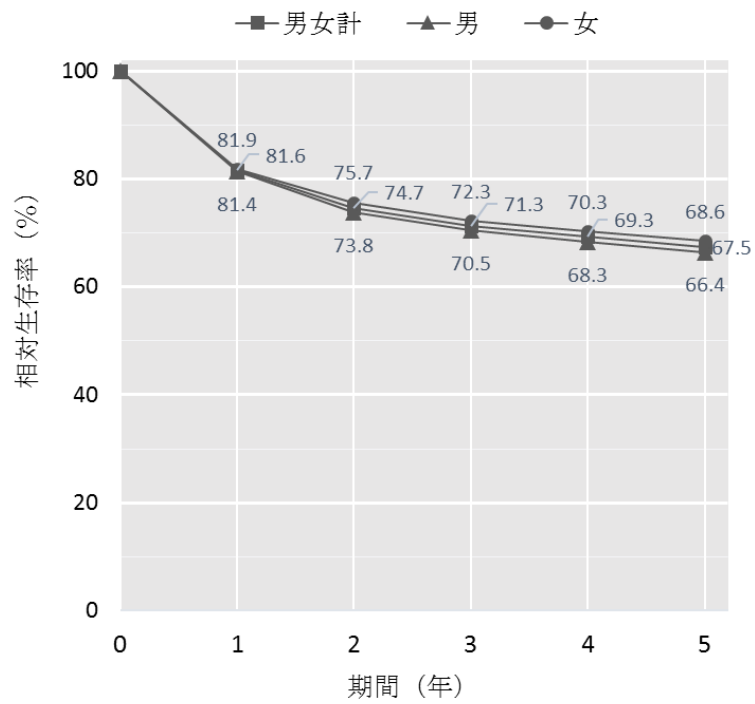
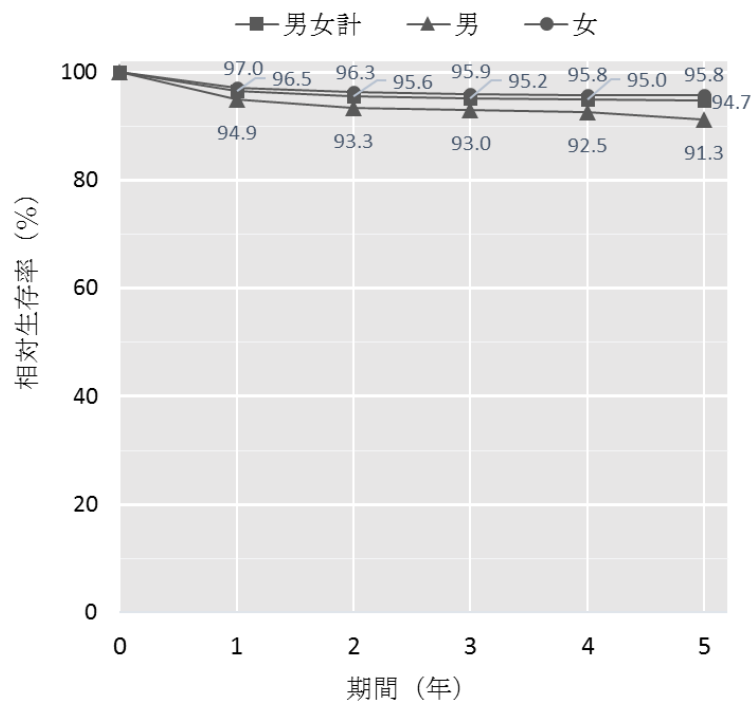


図 3 (続き) 上: 甲状腺、下: 悪性リンパ腫

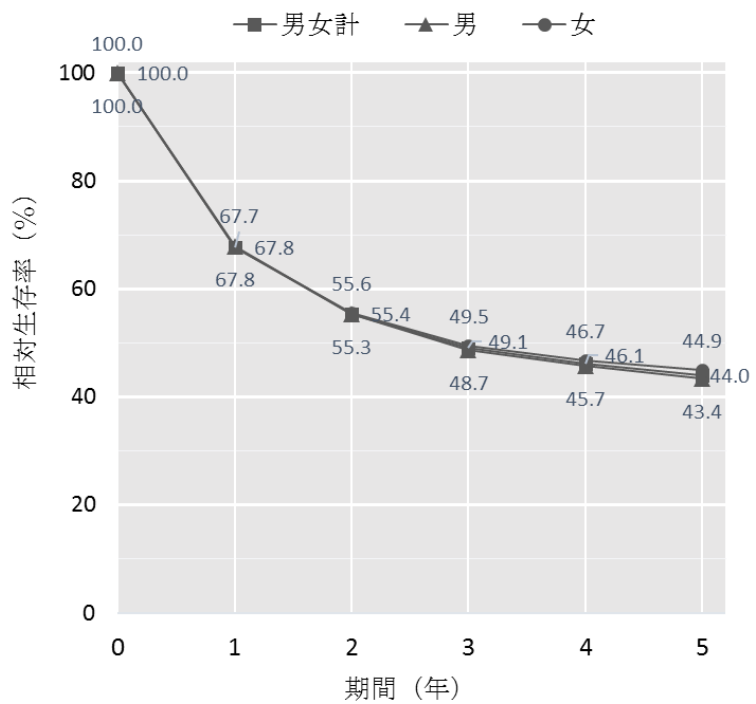
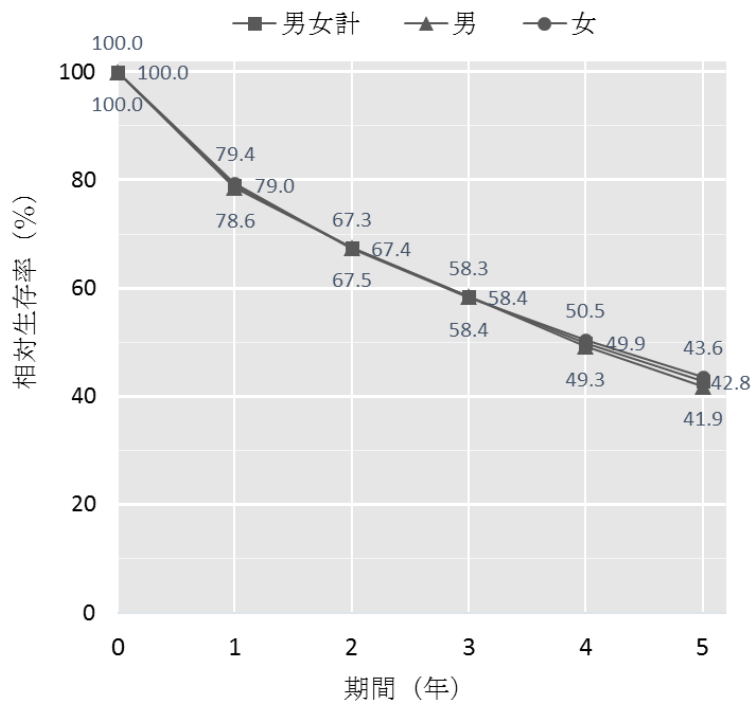
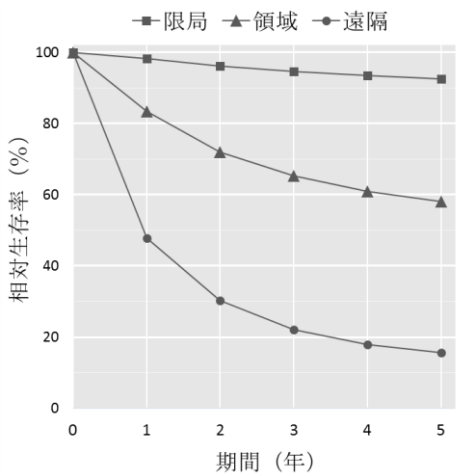
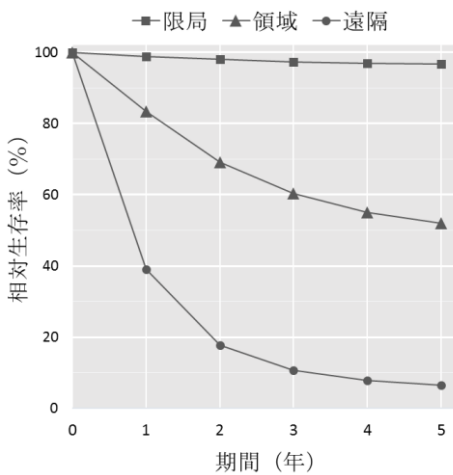


図 3 (続き) 上: 多発性骨髄腫、下: 白血病

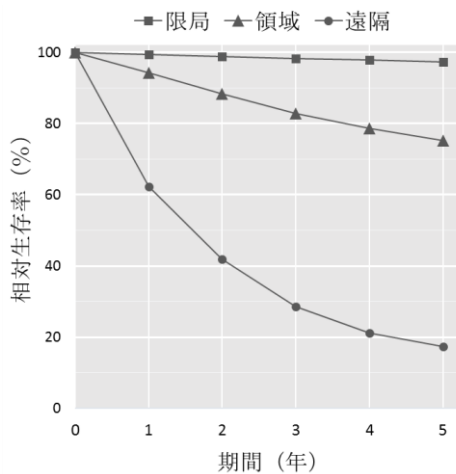
全部位



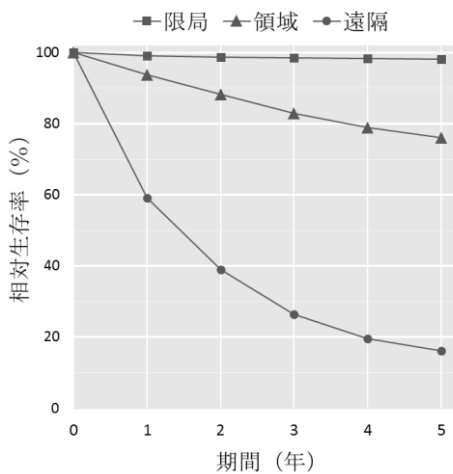
胃



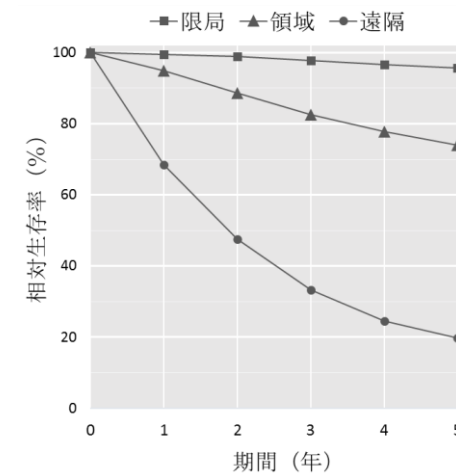
大腸 (結腸・直腸)



結腸



直腸



肝および肝内胆管

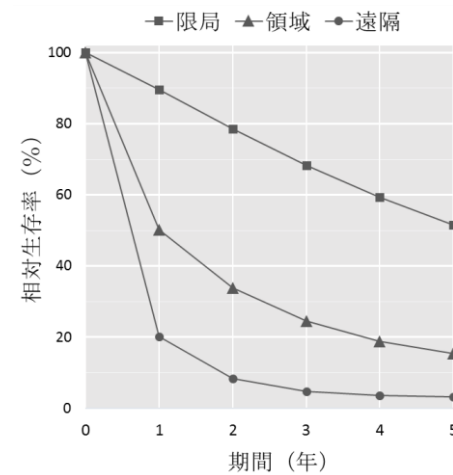
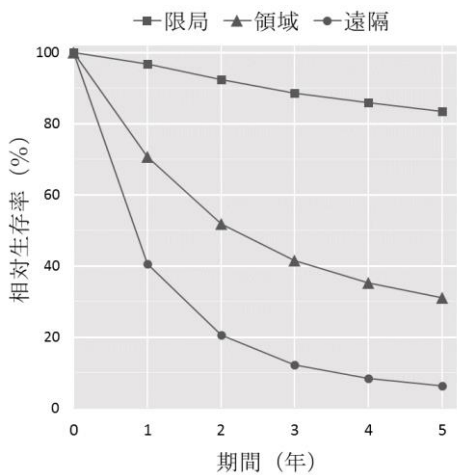
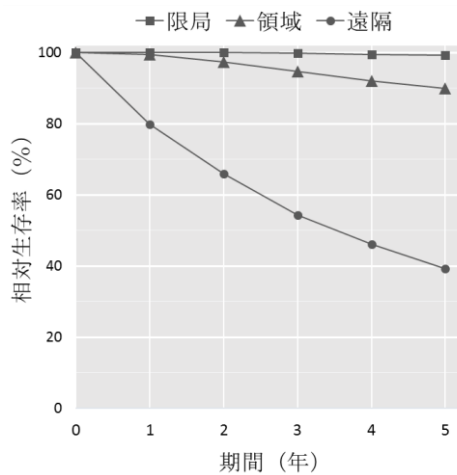


図 4 部位別・進行度別相対生存率 -2009-11年、解析対象2-

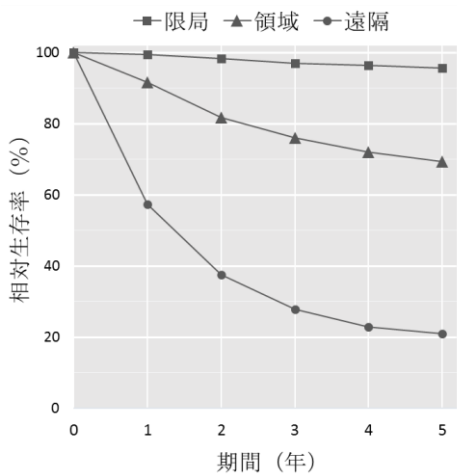
肺



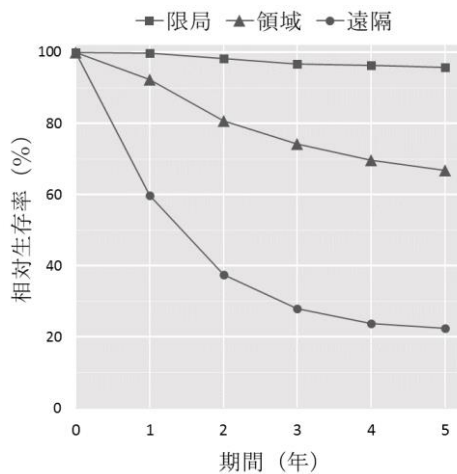
乳房



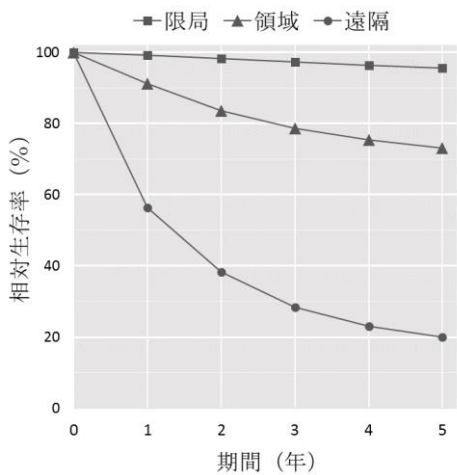
子宮



子宮頸部



子宮体部



前立腺

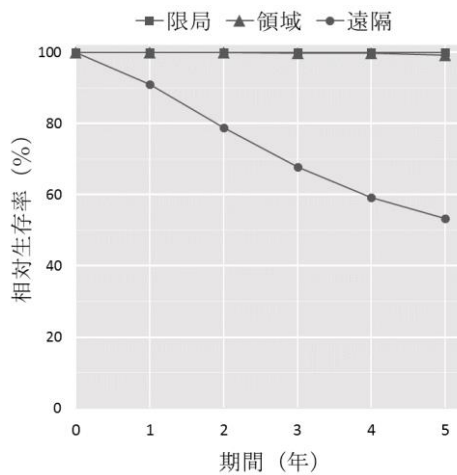


図 4 (続き)

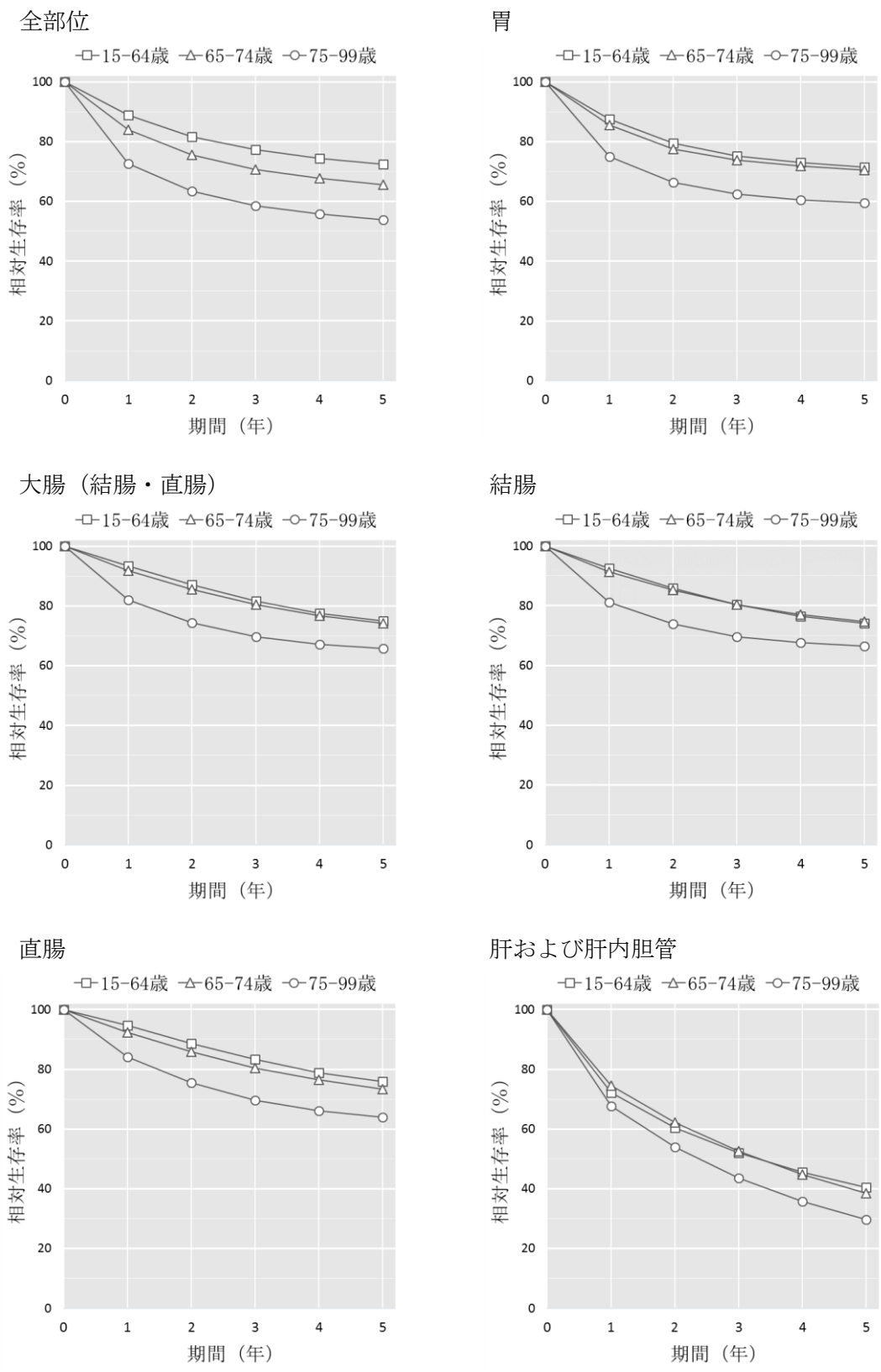
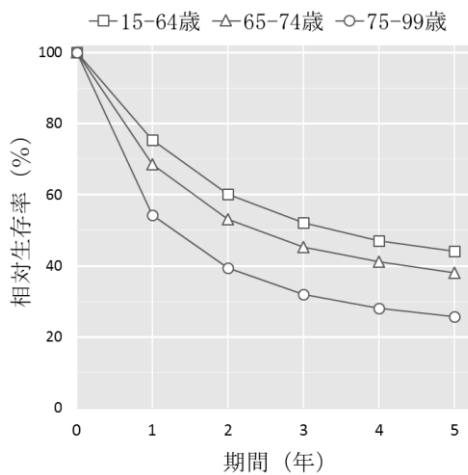
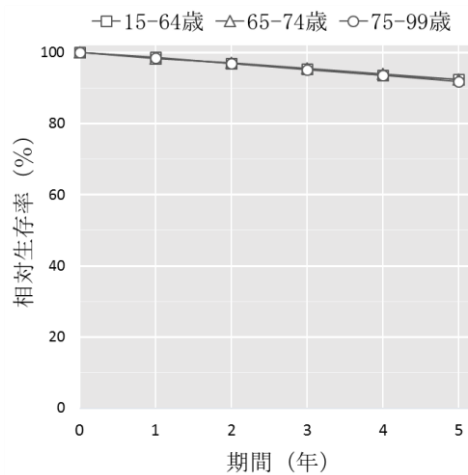


図 5 部位別・年齢階級別相対生存率 (解析対象 2)

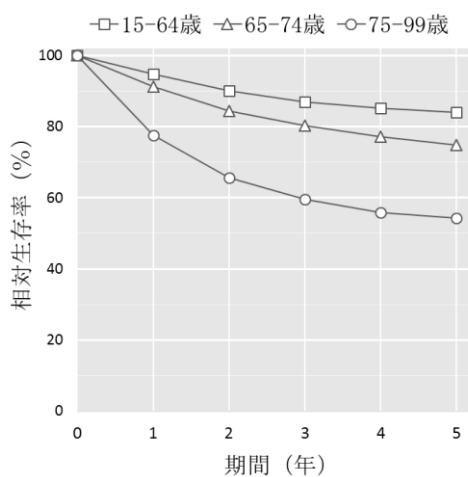
肺



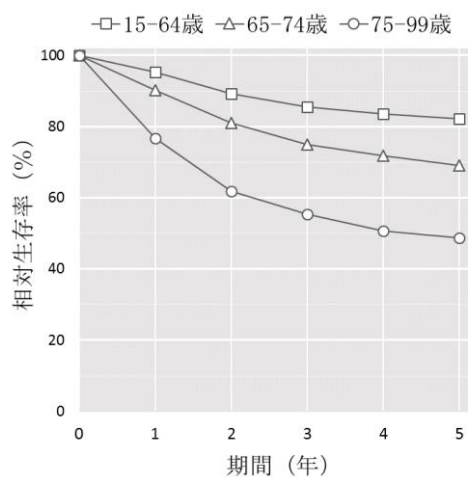
乳房



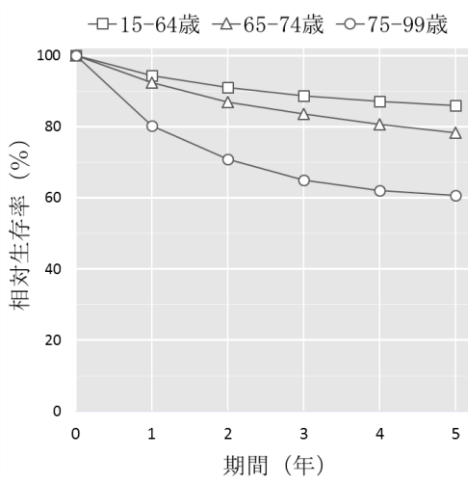
子宮



子宮頸部



子宮体部



前立腺

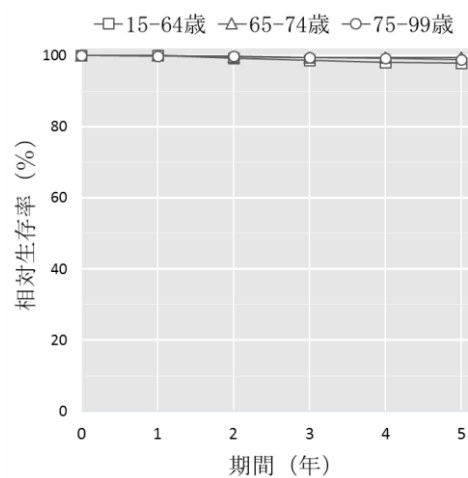


図 5 (続き)

F. 健康危険情報

(総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 松田智大, 論点 私の考え方 がん登録データは臨床応用すべきか 住民ベースの医療情報の臨床への活用. 日本医事新報, 2019(4946): p. 24-25.
2. 松田智大., がん登録データは臨床応用すべきかー住民ベースの医療情報の臨床への活用. 日本医事新報, 2019. 4946: p. 24-25.
3. 碓井喜明., 伊藤秀美, 小柳友理子, 松田智大, 片野田耕太, 前田喜信, and 松尾恵太郎, The impact of novel agents on multiple myeloma: trend of incidence and mortality in Japan. *International Journal of Myeloma*, 2019. 9(1): p. 136.
4. Saika, K. and T. Matsuda, International comparison of uterine cancer incidence by detailed sites. *Jpn J Clin Oncol*, 2019. 49(9): p. 890-891.
5. Niino, M. and T. Matsuda, Testis cancer incidence rates in the world from the Cancer Incidence in Five Continents XI. *Jpn J Clin Oncol*, 2019. 49(2): p. 199-200.
6. Niino, M. and T. Matsuda, Incidence rates of liver cancer in the world from the Cancer Incidence in Five Continents XI. *Jpn J Clin Oncol*, 2019. 49(7): p. 693-694.
7. Nakagawa-Senda, H., M. Hori, T. Matsuda, and H. Ito, Prognostic impact of tumor location in colon cancer: the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) project. *BMC Cancer*, 2019. 19(1): p. 431.
8. Matsuda, T. and M. Inoue, Moving towards tailored, region-specific cancer-control measures in China. *Lancet Glob Health*, 2019. 7(2): p. e175-e176.
9. Inoue, S., H. Ito, S. Hosono, M. Hori, T. Matsuda, M. Mizuno, K. Kato, and K. Matsuo, Net Survival of Elderly Patients with Gynecological Cancer Aged Over 75 Years in 2006-2008. *Asian Pac J Cancer Prev*, 2019. 20(2): p. 437-442.
10. Harashima, S., M. Fujimori, T. Akechi, T. Matsuda, K. Saika, T. Hasegawa, K. Inoue, K. Yoshiuchi, I. Miyashiro, Y. Uchitomi, and Y.J. Matsuoka, Suicide, other externally caused injuries and cardiovascular death following a cancer diagnosis: study protocol for a nationwide population-based study in Japan (J-SUPPORT 1902). *BMJ Open*, 2019. 9(7): p. e030681.

2. 学会発表

1. Matsuda, T., K. Saika, A. Trama, C. Ciang, Y.J. Won, and J. Lim. Rare Cancers are also Not Rare in Asia: The Rare Cancer Burden in East Asia. in 41st Annual Meeting of IACR. 2019 Jun. Vancouver, Canada.

2. Matsuda, T., K. Saika, E. Sasaki, E. Ando, and T. Sobue. Monitoring of Incidence and Mortality of Cancers around Fukushima Nuclear Plant Accident Area: Inter-Regional Analysis. in 41st Annual Meeting of IACR. 2019 Jun. Vancouver, Canada.
 3. Koyanagi, Y., K. Katanoda, T. Matsuda, K. Matsuo, and H. Ito. The impact of Novel Agents on Multiple Myeloma: Trends of Incidence and Mortality in Japan. in 41st Annual Meeting of IACR. 2019 Jun. Vancouver, Canada.
 4. Ito, Y., P. Balgi, U. Saran, S. Rout, H. Ito, A. Kanoh, M. Yuasa, K. Katayama, K. Katanoda, T. Matsuda, and N. Saruki. Challenge in Translating Information about Cancer Survival to General People: Sharing Messages for Cancer Survivors using Statistics of Conditional Survival. in 41st Annual Meeting of IACR. 2019 Jun. Vancouver, Canada.
 5. 松田智大., Prospects for Asia-led cancer epidemiology research. 日本癌学会総会記事, 2019. 78回: p. SP3-2.
 6. 松田智大., 全国がん登録から考える日本のがんの現状と対策 全国がん登録の結果と展望. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 2019. 78回: p. 126.
 8. Matsuda, T., Y.J. Won, C. Chiang, J. Lim, K. Saika, K. Fukui, L. W.C., and A. Trama. Rare cancers are also not rare in Asia: The rare cancer burden in East Asia. in 第17回日本臨床腫瘍学会. 2019. 京都.
 9. Matsuda, T. Rare Cancer Burden in Asia - International coordination is a pressing issue. in 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2019. 京都.
- H. 知的財産権の出願・登録状況**
1. 特許取得
なし
 2. 実用新案登録
なし
 3. その他